

. 評価と提言

1. 協力プログラム全体に対する評価と提言

Ⅲ. 評価と提言

1. 協力プログラム全体に対する評価と提言

本プログラムは5つのコンポーネントから構成され、それぞれ WTO に関連してはいるが異なった分野のテーマを対象としている。しかし、これらのテーマは WTO 協定の実施を進める上で支援の必要性が高いという背景から要請されたものであることから、各コンポーネントを通じての共通な側面もあり、このような観点から下記を効果のあった点として挙げられる。

- ・ カウンターパート機関のニーズとレベルに応じた知識と情報システムの提供

本プログラムのなかには多くの知識移転型のセミナー・ワークショップなどの活動も含まれているが、企画段階では、カウンターパート側のニーズとレベルを勘案した上で、テーマと講師の選択等を行なった。一方で講師陣に対しても現地事情と先方のニーズを説明し、提供される情報がニーズに合致するような調整を行なった。また、情報システムに関しては、ニーズの把握をカウンターパート組織の職員を一人一人インタビューし、WTO 関連情報の扱いの実態と IT 関連能力を測った上でシステム的设计にかかった。さらに、知的財産権のコンポーネントにおいては、テキスト作りそのものの作業から日タイの専門家チームが取り組む、というやり方でテキストを将来的に使う立場から、受講者の能力や関心を勘案しつつ、各原稿執筆者に対する情報提供を行ないつつ編纂した。このように、ニーズとレベルに応じたプログラムとすることに注力した点はカウンターパートや受講者の反応からも示されている。

- ・ セミナー・ワークショップの期待達成度

各コンポーネント別のセミナー・ワークショップの終了時に参加者へのアンケートをとり、評価をいくつかの点について記述してもらったが、そのうちのひとつのポイントである「期待達成度」について見ると平均して 80%（5段階評価の4）の評価を得た。

- ・ 日本の経験の共有

世界市場のなかで貿易と経済を発展させてきた日本の各コンポーネント分野（AD、TBT、GATS、TRIPS）における経験に対する関心は極めて高く、日本の官庁、学識者および民間部門から合計 40 名の講師を動員した。WTO 協定への対応には、欧米型の運営システムや言語といったアジアの国には馴染みが少ない面もあり、そのような点で共通性のある日本のこれまでの取り組みに特に関心が高い。この観点からは、本プログラムによる情報のみならず、経験の共有という効果は評価できると言える。

- ・ WTO での交渉に伴い意識の高まっているテーマ、疑問への回答

サービス貿易（GATS）分野では WTO における多国間の交渉が進展中であり、タイにおいても他のメンバー国から示される要求（Request）と提示（Offer）に対してどのような自由化を求めかつ自国として示すかは、喫緊の課題でもある。このようなタイミングで本プログラムを通じて、WTO 経験の深い専門家を講師として招き、様々な疑問に答えることができた。この側面はとりわけ GATS において顕著であった。

- ・ これまで関心の低かった省庁への啓蒙

GATS、TBT、TRIPS に共通しているが、これまで WTO 協定とは必ずしも接点が多くない省庁に対しては、本プログラムを通じて関心を惹起する効果があった。WTO 協定は多岐にわたる経済活動分野の国内法令制度などの整合性を前提としており、従来貿易や外国投資との関連性の低かった省庁においても、今後の WTO 交渉の展開によっては関連が出てくる可能性もある。この点から本プログラムが意識を喚起した効果があったとみることができる。

- ・ 関係省庁および官民の協力体制の構築

AD/CVD および GATS において共通しているが、関係省庁あるいは官民の関係者が顔をあわせ、WTO 協定関連の 이슈について議論をする場を本プログラムは提供したことになる。このような他機関との協力体制の構築により、情報の共有化、WTO 関連における義務と権利の概念の普及に役立ち、キャパシティの強化に繋がっている。

上記の評価・効果を受け、今後のキャパシティ・ビルディングへの提言として、下記のポイントをプログラム全体に共通な点として示すことができる。

- ・ 情報の共有と活用

コンポーネント 1 で協力を行なった「情報共有システム」は当面 DTN 内での共有を進めるものであるが、将来的にはこのシステムの関連省庁からの利用も可能になるようなシステムとして開発を行なった。今後の展開としては DTN 内はもとより、今回の協力対象となった商務省内外の関連省庁においても、WTO 関連の最新情報の入手と活用を図ることが望まれる。情報システムはあくまでインフラであり、その有効活用の仕方にかかっている。この点から、本プログラムが提供した情報システムが外部からのニーズに応え、さらに拡張・展開されより広いユーザーに利用されることが、更なるキャパシティ・ビルディングへの提言として挙げられる。

具体的には、DTN と関係省庁との間での情報共有に関する協議の機会を持ち、関係省庁からの要望に DTN が応えるという関係を強化し、DTN としても、関係先のニーズを意識しながら、情報共有の効果的な促進を図って行くことが考えられる。とりあえずの試みとして、DTN 発の「メールマガジン」を発信し、情報共有システムの開発の状

況、利用の状況、利用の促進を図ることが有効を考えられる。

- ・ 省庁間調整機能の強化

評価のところでもふれたとおり、多分野にかかる WTO 協定の性格上省庁間および官民の調整機能を強化することが、今後のキャパシティ・ビルディングにつながる。とりわけ、サービス貿易分野に関しては、多様な分野から成り立っているが、サービス交渉に際しては、分野横断的な条件も示すことになり、相互の理解が必要である。このためには、DTN が中心となり、サービス関連省庁との連絡を密接に保つ必要がある。

また、AD/CVD の関係では、官民の情報の疎通をよりスムーズに行なう必要がある。対策としては、DFT および民間団体である FTI との間の情報交換と意見交換の機会をより活発にすることが提案される。日本における日本経団連の貿易投資委員会の活動を参考にすることも一案であろう。

- 参考：

日本経団連「貿易投資委員会」は、約 120 の日本の企業及び業界団体から成る。貿易及び投資の自由化に関し、業界横断的な情報収集、意見集約及び内外政府等への働きかけを行っている。）

- ・ 組織体制の整備

上述の情報の共有と多くの組織をつなぐ機能を果たすための組織への提案も出されている。例えば、AD/CVD の関連では日本の公正貿易センターをモデルに、「タイ版公正貿易センター」構想が提示されている。新たな組織といっても当面はコストのかからないネットワークの構築からスタートし、展開して行くことが提言される。

また、サービス部門では日本経団連の「サービス貿易自由化協議会」の事例を参考に、タイの民間団体においてもサービス部門の事業者同士の交流を図り、政府側のサービス部門全体の交渉窓口である DTN との協議の場の設置が求められる。

- ・ 人材の育成

本プログラムのなかでは様々なセミナー・ワークショップが実施されたが、今後のキャパシティ・ビルディングを図るためには継続的な研修活動の実施が必要であり、それを支える講師人材の強化や研修ツールなどの開発も必要である。TRIPS コンポーネントでは、この観点から教材開発とトレーナーズ・トレーニングを実施したが、他のコンポーネントにおいても、今後の対応力を強化するプログラムを継続的に実施し、人材の流動に影響されないかたちでの、組織のキャパシティの強化と展開するべきであろう。

具体的には、今回の一連のセミナー・ワークショップで配布されたテキストあるいは参考資料を加工し、各カウンターパート機関においての研修活動に活用することが提言される。

また、今後 WTO はじめ援助機関によって開催されるセミナー・ワークショップの機

会の積極的な活用、さらにジュネーブ代表部スタッフによる報告会の開催をより広い官民を対象に開催することも効果的である。

- ・ ASEAN 周辺国へのキャパビル協力の推進

カンボディア、ラオスなどの WTO 未加盟の周辺国のキャパシティ・ビルディングについては、タイの経験が貴重な役割を果たすと考えられ、既にタイが技術援助国としての活動を開始している。APEC の場でも議論されたとおり、発展途上エコノミーのキャパシティ・ビルディングへは様々なかたちでの協力が必要であり、日本の二国間援助のなかでも南南協力の有効性が位置付けられている。このような観点から ASEAN 周辺国似対する更なる協力を展開することは極めて重要と考えられ、ひいてはタイ自身のキャパビルにもつながるものと考えられる。

- ・ 啓蒙的活動

タイの国民レベルにおいて WTO 協定を含む自由貿易体制および更なる自由化に対して、理解の向上を図るための啓蒙的活動は、知的財産権のように市場および消費者に様々な影響を及ぼすようになってきていることから、重要性が増していると言えよう。このような観点から GATS においては、地方でのセミナーの展開を図っており、他のコンポーネントにおいても、今後の国民への啓蒙的な PR が重要と考えられる。

具体的には、地方都市における自治体および民間セクターを対象としたセミナーの開催、タイ語によるテキスト、パンフレットなどの配布、国際市場の拡大が WTO ルールの下で促進され、自国産業の発展に役だっていることを様々なメディアを通じて伝えることが有効であると考えられる。

なお、本プログラムの目標設定と評価に関し、プロジェクト・サイクル・マネジメント (PCM) の手法に基づき整理すると、表 III-1-1 の通りある。

図表 III-1-1 プロジェクト・デザイン・マトリクス (タイ)

案件名: APEC 地域 WTO キャパシティ・ビルディング協カプログラム (タイ)

期間: 2001 年 8 月 ~ 2002 年 12 月

プロジェクトの要約	指標	指標データ入手手段	外部条件
<p>上位目標</p> <p>WTO への加盟を通じ多角的貿易体制からのメリットを享受するために、WTO 協定の内容を理解し、実施、交渉できる能力を獲得する</p> <p>プロジェクト目標</p> <p>① 本プログラムの提言、構築される情報システムにより商務省貿易交渉局(DTN)の WTO 協定実施にかかわる調整能力が向上する</p> <p>② 本プログラムの技術移転(GATS、AD/CVD、TBT、TRIPS、交渉能力)により、行政官及び業界関係者の協定理解・実施・交渉能力が向上する</p>	<p>タイの行政官の WTO 交渉での発言者リソースの数が、プロジェクト開始時に比べ増加する。</p> <p>- 情報システム担当者がパイロット・システムの仕組みを理解し、継続的な運用能力を獲得する。</p> <p>- DTN から関連省庁への WTO 関連情報量がプロジェクト開始時に比べ増加する。</p> <p>- WTO 協定の内容を熟知した関係者数がプロジェクト開始時に比べ増加する。</p>	<p>●タイ政府の WTO 関連スタッフの活動記録</p> <p>●アンケート調査</p> <p>●ヒアリング調査</p>	<p>● タイの対 WTO 政策及び多角的貿易政策に変更がない。</p>
<p>成果</p> <p>① WTO 協定調整窓口である DTN に情報システムが構築され、運用される。</p> <p>② GATS に関する行政官の理解が向上する</p> <p>③ AD/CVD 協定・措置の行政と民間での理解が促進される。</p> <p>④ TRIPS 協定、知的財産権行政の実施能力が向上する</p> <p>⑤ TBT 協定に関する行政官の理解が促進する。</p>	<p>① WTO 協定関係省庁で情報が共有され、調整能力が向上する。</p> <p>② GATS に関する行政官の活動が活発になる。</p> <p>③ AD/CVD 協定・措置実施にかかわる行政手続き能力が向上する。</p> <p>④ TRIPS 協定、知的財産権行政のエンフォースメントが強化される。</p> <p>⑤ TBT 協定に関する行政官の、国際標準化活動への適切な参加が増大する。</p>	<p>●アンケート調査</p> <p>●ヒアリング調査</p>	<p>● DTN が情報システムを継続的に維持・管理し、活用する。</p> <p>● 行政官及び業界関係者に対して、継続的な技術移転が実施される。</p> <p>● 各機関の WTO 担当者が激減しない。</p>
<p>活動</p> <p>① 情報システムの試験的構築、維持・運用技術の移転</p> <p>② ワークショップ開催による知識移転</p> <p>③ ワークショップ開催による知識移転</p> <p>④ 行政官・民間関係者向け研修教材の開発、知識移転</p> <p>⑤ ワークショップ開催による知識移転</p>	<p>投入</p> <p>日本:</p> <p>人材</p> <p>コンサルタント(コア)</p> <p>コンサルタント(追加)</p> <p>外部専門家</p> <p>業務調整員</p> <p>プロジェクト運営費用 必要経費</p> <p>海外:</p> <p>人材</p> <p>WTO スタッフ</p> <p>外部専門家</p>	<p>現地:</p> <p>人材</p> <p>カウンタートパート</p> <p>外部専門家</p> <p>通訳・業務調整・秘書</p> <p>設備 チームオフィス</p> <p>機材</p> <p>事務機器、PC、ソフ</p>	<p>● 技術移転を受けた行政官等が継続的に WTO 関連業務にかかわる。</p> <p>前提条件</p> <p>WTO 協定実施に係る各省庁担当者がプロジェクトに反対しない。</p>

2. 各分野に関する評価と提言

2. 各分野に関する評価と提言

2.1 WTO 協定実施にかかる組織体制の強化《コンポネント 1》

本節では、「コンポネント 1：WTO 協定実施にかかる組織体制の強化」に関する支援実施内容の評価と今後に向けた提言を行う。

2.1.1 評価

WTO 協定実施にかかる業務担当部門である貿易交渉局（旧事業経済局）の WTO 担当部署において、支援実施前は、WTO 関連情報の共有化に関連して以下のような課題があり、業務全体を非効率にしている面があった。

- ・ WTO 関連情報が各分野の担当者個人に帰属しており、紙媒体資料の形で分野別・時系列に個人管理されている。
- ・ DTN 内部であっても関係する他分野の情報を得るためにはその分野の担当者にお問い合わせの必要がある。
- ・ 担当者不在の場合には、必要な情報を得ることが困難である。
- ・ 必要な情報を探すために時間がかかる。
- ・ WTO 担当部署では、DTN 内他部署、他省庁等からの情報提供依頼が多く寄せられており、その対応に時間が割かれている。

WTO 協定実施にかかる組織体制の強化の観点から、DTN 内部の WTO 関連情報の共有化を図りやすくするための手段として、WTO 関連情報共有システムである「WTO-ISS」を設計・開発し、2002 年 11 月 4 日に DTN へ導入した。本支援実施の結果、WTO 担当部署である DTN が WTO 協定実施にかかる組織体制の強化のための手段を得ることができた。このように、WTO-ISS の正式運用開始までの一連の支援活動を通じて、以下のような成果が得られたといえよう。

- ・ 本コンポネントの支援実施に関して、DTN カウンターパートの積極的な協力が得られたため、WTO 担当部署の支援実施前の課題解決に適しておりかつ DTN 側のニーズを反映した情報共有システムを設計・構築・導入することができた。
- ・ DTN カウンターパートの協力により、システム稼働時に既存文書を整理・デジタル化し、システムに登録することができた。これら一連の作業を通じて、DTN 内 WTO 担当部署の各担当者の属人的な情報を分野横断的に一元化して分類することができ、WTO 担当部署の個別担当者に情報の共有化の意識付けを行うことができた。こうして、システム運用開始段階から、個別担当者が情報共有システム利用の

メリットを実質的にも意識の上でも感じることでできる環境をつくることができた。

- ・ DTN の既存システム（ペーパーレスシステム）と密接な連携を有する情報共有システムとしたことにより、WTO 分野のみならず他分野においても利用しやすいシステムとすることができた。DTN の既存システムに関してもよりニーズに合致したシステムにモディファイすることができた。
- ・ WTO-ISS の利用、運用・管理のための研修を利用者及びシステム管理者を対象に実施し、今後、DTN が WTO-ISS を利用、運用・管理していくための基礎をつくることができた。
- ・ システムの設計・開発段階を通じて、できるだけ DTN カウンターパートとともに議論・作業を行ったため、システム設計、開発手法、開発管理に関する技術支援を行うことができた。

しかしながら、WTO-ISS を導入したことだけでは、WTO 関連情報の共有化が促進され、WTO 協定実施にかかる組織体制が強化されるわけではない点に留意する必要がある。実際に WTO 関連情報の共有化が促進されるためには、WTO 担当課の個別担当者が WTO-ISS を今後いかに利用していくかにかかっていると見える。WTO 担当課の個々の担当者全員が自らの情報を登録することによってはじめて、部署全体として大きな業務効率化が図られるためである。このように、WTO 担当部署の個々の担当者全員が自らの有する情報を共有しようとの意識を持つことが重要であり、そのため、WTO 担当課の責任者は、担当者に情報共有化の意識を持たせることが必要となろう。

11 月 8 日のシステム正式運用後 12 月末までのシステム利用実績は、WTO 担当課で WTO-ISS の利用経験のある担当者は 16 名（ユーザアカウント）、総アクセス数 491 件（ただし文書登録は Web Serve 経由のため、そのアクセス数は含まない）となっており、2002 年 12 月末の段階では試用に留まっている状況である。この理由としては、まず、すでに稼働している INFOMA Web Flow が、徐々に使い始めるとの方針で運用されているため、現段階では各課の文書係以外に利用されていないことがあげられる。今後、各セクションリーダーが使えるようにする計画だが、同システムへの全面移行が実施されるのは 2003 年半ば以降の見込みである。また、Web Serve は DTN 全体では 11 月 26 日にいったん正式稼働したが、その後、Web Serve に不具合が見つかったため、12 月末現在利用されていないことも原因の一つである。このような理由から、現段階では INFOMA と密接に連携している WTO-ISS の利用状況にも影響が出ている。

Web Serve の不具合に関しては 2003 年 1 月にすでに修正されているが、DTN 側で INFOMA の利用を徐々に促している現状を考慮すると、WTO-ISS の利用拡大はこれ以降とならざるを得ない見通しである。本支援終了後の DTN 側による WTO-ISS 利用拡大のための方策が重要である。この点では、カウンターパートとしてはユーザに対して直接利用を

働きかける他、DTN 副局長へのシステムデモとそれを踏まえたユーザへの利用の指示をトップダウンで行うなどの方策を主体的に検討、実施している状況であり、現段階においても取り組みが行われている。また、カウンターパートからは、DTN の WTO 担当部署における研修を通じて WTO-ISS の便利さを理解しており、INFOMA が稼働することによって、自然と利用されていくとの見解が示されている。

2.1.2 提言

本項では、前項「2.1.1 評価」で検討した支援実施内容の評価を踏まえ、今後に向けた提言を以下にまとめる。

- (a) 導入した WTO 関連情報システムを有効活用し、WTO 協定実施にかかる組織体制を強化するため、システム利用・管理マニュアルを継続的に活用していくことに加えて、WTO 担当部署の個々の担当者全員に自らの有する情報を共有しようとの意識を強化することが必要である。そのために下記の 3 点を提示する。
 - 当面は、WTO 担当課内における情報共有化をトップダウンによって徹底するなどの組織的な対応を図ること。
 - また、WTO 担当課及びシステム管理部門それぞれに WTO-ISS 担当者を任命し、新人研修等の階層別研修、個別利用方法指導や質問対応に加えて、積極的な活用をアピールすることが必要と考えられよう。これら担当者が登録件数の少ない担当者に対して、個別に指導することも有用であろう。
 - システム自体の利用方法の指導に加え、システム利用による利益実感を共有化する仕組みを検討し、自発的な利用促進を考慮することも重要である。例えば、情報の更新、新規文書等の登録情報を定期的にユーザにフィードバックし、利用インセンティブを高める仕組み等が検討されよう。
- (b) 現在、システムへの情報登録は、セキュリティを考慮して、DTN 内からに限定されているが（閲覧は広く開放している）、将来、タイ政府における省庁間ネットワーク環境が整備された後、他省庁からの情報登録を認めることも、いっそう WTO 担当課における業務効率化を図る上で重要である。なお、本システムはこうした拡張を考慮して開発されている。
- (c) WTO-ISS は、WTO 関連情報の共有化に適した仕様で設計・開発されたものであるが、他分野にも適用可能である。DTN 内で行っている他業務分野の情報共有にも活用することを検討すべきである。他部署における業務効率化に加え、他分野の情報であっても WTO 協定実施にかかる業務に関連しているため、いっそう WTO 担当課における業務効率化が図られることになる。なお、本システムは WTO 関連情報共有化のためのパイロットシステムとして開発されたものであるが、こうした拡張を考慮して開発されている。

なお、システム利用の実態のフォローアップを含め、上記(a)の3項目にかかる運用上のユーザビリティ向上のためのコンサルテーション等が重要と考えられる。2003年半ばには DTN のオフィス移転が予定されていることもあり、利用進行のしかるべきタイミングで必要に応じ、TA コンサルタントチームによるフォローアップミーティング等の開催を検討することが望まれる。

2.2 GATS の実施能力向上支援 《コンポネン ト 2》

2.2.1 評価

(1) 全般

本コンポネン トの中心 的 な活動であるワークショップの評価は、1)ワークショップ終了時の参加者に対するアンケート調査¹¹、2)DTN および他のタイ政府側カウンターパートとの協議、3)ワークショップ講師のコメント、 および、4)これらを総合した TA コンサルタント・チームによる見解によって行った。ワークショップは、交渉の進捗に伴い必要性が高まっていた GATS の知識を整理し、疑問に答える場として活用された。また、これまで GATS への理解と関心が薄かったサービス関連省庁に対する DTN からの働きかけの場とし、DTN は第 1 回ワークショップの主催者として、第 2 回のワークショップでは取りまとめ役および分野別ワークショップの活発な出席者として関わった。さらに、第 2 回ワークショップは、会計サービス、観光サービスの両分野では行政官と産業界代表者が同時に理解を深めるための初めての機会を提供するとともに、対象とした 4 分野において今後、分野別の調整機能が発揮されていくためのベースとなる知識の共有化に寄与した。

(2) 第 1 回ワークショップ

DTN (当時 DBE) のコメント

幅広い講師による包括的なワークショップとなった。時間の関係上、全ての質問に対して十分時間をかけて議論を尽くせなかったことは今後の課題となる。出席者の関心の高さが伺えた。GATS の基本や過去の交渉の経緯については整理がなされたことから、今後、主要分野毎の課題に沿った知識向上の場が望まれる。

講師のコメント

- ・ タイ・日本両国の行政官、学識経験者によりバランスの取れた内容のワークショップとなった
- ・ タイ側行政官のスピーカーとしての積極的な関与により、ジュネーブの現場から国内関係省庁に情報集約の必要性を訴える好機となった
- ・ GATS の基本的な規定内容に関する説明は一部の参加者には既知のようであった
- ・ 初回として、GATS の基本事項が講義内容の中心となることはやむを得ないが、今後はこれをベースに分野毎のイシューや個別産業政策との関係等、さらに掘り下げ

¹¹ 本アンケートは、5 点を非常に満足、3 点を普通、1 点を非常に不満足とする 5 段階評価および分かりやすかった／わかりにくかった点、今後の業務のうえでの知識活用方法等の自由記載を求める形式にて実施した。

た内容とすることが期待される

アンケート結果

参加者 106 名のうち 36 名よりアンケート調査への有効回答を得た。これによると、ワークショップに対する満足度は概ね高く、9 割が「とても満足」または「概ね満足」と回答している。とりわけ、パネルとして取り上げた通信関係の参加者からはきわめて高い評価を得た。

今後のワークショップにおいては、「サービス交渉のアップデート」、「セクターに特化した交渉」を希望する向きが多かった。

(3) 第 2 回ワークショップ

ワークショップ後の出席者に対するアンケート結果及び DTN を含むカウンターパート機関とのレビュー協議を通じ、タイ政府側の評価が以下のとおり明かになった。

(a) DTN (当時 DBE) (GATS 全般)

コメント

ワークショップは DBE が交渉対応を検討するうえでベースとなる知識移転の好機となったとともに、セクター別に産業界を巻き込んだ検討を本格化させるうえで有用であったと評価する。また、DBE は産業界からの有効な意見聴取のチャンネルを持たないため、今後とも独自にセミナーや会合を行い、意見聴取や交渉に関する情報伝達に努める必要があると認識している。地方都市も含めた産業の現状について把握し、これを交渉に活かしていく事が今後の課題であると認識している。

(b) 金融サービス分野

財務省財務政策局 (FPO) のコメント

かねてから定期的に会合を持っている「金融自由化ワーキング・グループ」(参加機関は今次ワークショップ出席者に同じ)において、今後、ワークショップの成果を活用して協議を深めたい。ワークショップの時間が限られていたため、未だ GATS 交渉への対応に関し、銀行セクターの約束方法等に関して疑問点がある (TA コンサルタント・チームより後刻質問を送付してほしいと伝えた)。また、FPO としては GATS だけではなく自由貿易協定 (FTA) への対応に係る検討も迫らせており、学識経験者や専門家による研究が必要だと感じている。

アンケート結果

参加者 22 名中、12 名より回答があった。回答者全員が、ワークショップは本分野の現在の状況に照らし有用であると回答。また、88%が現在の職務に活用し得る内容と回答し

た。投資分野や通信サービス分野との関係等、金融サービス以外の分野についての関心も寄せられた。

(c) 通信サービス分野

運輸通信局郵便逓信局（PTD）のコメント

ワークショップにおいて、省庁内の若手担当官および通信事業者に対し、PTD 内のリソースが前回の基本電気交渉について直接語りかける好機となった。講師の包括的な説明と併せ、これまでの交渉経緯や論点に対する理解が深まった。

アンケート結果

参加者 26 名中、11 名より回答があった。回答者中 91%が、ワークショップは本分野の現在の状況に照らし有用であると回答。また、91%が現在の職務に活用し得る内容と回答した。今後、さらに通信分野の事情やサービス交渉の進捗に合わせ、掘り下げた知識移転の場が求められるとのコメントが寄せられた。

(d) 観光サービス分野

タイ観光局（TAT）のコメント

今回のワークショップを機に、TAT ハイレベル等も対象とし、別途 DTN サービス担当官を招いて GATS 交渉の周知を目的とする会合を開催するなど、内外の意識喚起の好機となった。観光関係の業界団体は多数存在し、そうした産業界代表者からのインプットを交渉に活用していくための基礎的な理解の促進に役立った。今後とも TAT 部内及び民間産業界に対して情報の提供を図っていくことが課題である。

アンケート結果

参加者 26 名中、18 名より回答があった。回答者中 78%が、ワークショップは本分野の現在の状況に照らし有用であると回答。また、78%が現在の職務に活用し得る内容と回答した。今後の課題として、さらに GATS 全般に関する理解を深めたいとするもの、観光セクターに特化した課題を理解したいというもの等、多様なコメントが寄せられた。

(e) 会計サービス分野

商務省事業登録局（DCR）のコメント

会計サービス関係省庁と産業界が一堂に会して GATS の諸問題について学ぶ機会は 2 年ぶりであり（前回は DCR が独自に開催）、知識のレベルを合わせ今後の協議を円滑化する意味でワークショップの成果は評価できる。ワークショップの講師説明から初めて明らかになった点も多い（例えば言語要件の GATS 上の扱い等）。GATS 交渉に関しては、同じ商務省の DTN との連携をさらに密にして対応ぶりを向上させたい。また、会計分野は国際

的な動きにキャッチアップするとともに、IT を活用した登録システムを刷新する必要もありさらに対応すべき課題も多い。

アンケート結果

参加者 32 名中、10 名より回答があった。回答者中 89%が、ワークショップは本分野の現在の状況に照らし有用であると回答。また、回答者全員が現在の職務に活用し得る内容と回答した。

2.2.2 提言

GATS コンポーネントの活動のレビュー、DTN や他のタイ政府側カウンターパートとの協議等を踏まえ、今後の GATS 分野での継続的なキャパシティ・ビルディングに向けて以下のとおり提言する。

提言 1：組織の活用と裾野の拡大

DTN が行っているサービス関連省庁連絡会議が今後も益々活用されることが期待される。その際、これまでも GATS 交渉の経験を有し、高い理解を持つ金融や通信分野だけではなく、比較的新しいとされる教育、環境、健康、さらには会計といった分野についても DTN との情報交換や DTN が独自に行うキャパシティ・ビルディング活動に積極的に参加することが重要となろう。その際、本プログラムで関係者に配布した GATS に関する基本的な WTO 文書の活用が期待される。

サービス交渉が益々本格化するなか、同連絡会議の主催者である DTN の役割はさらに重要となってくる。ジュネーブにおけるサービス交渉関連前後に定例化している同連絡会議の開催に加え、ジュネーブ代表部における担当官の帰国時等の機会を捉えた会合の開催なども有益となる。

提言 2：人材育成とタイ政府部内のリソース活用

交渉が進捗するなか、DTN 及びサービス関連省庁における人材育成は継続的な課題である。DTN の交渉担当者や各省の交渉経験者等のリソースを活用しつつ、DTN 内部における GATS の専門知識を有するスタッフをさらに育成すること、比較的最近 GATS に関する対応を始めた省庁においてもコアとなるスタッフを育成することが課題となる。そのためには、DTN および他のサービス関連省庁の GATS 担当者による人材育成プログラムの立案に対する積極的な関与や、提言 8（キャパシティ・ビルディング活動の企画と管理）とも関連し、効果的な運用が必要となろう。

提言 3：サービス関連省庁間での情報共有化の促進

GATS に関するジュネーブからの必要な情報は、総じて関係省庁に適切に連絡されている。但し、文書が大部に渡る場合にはタイムリーな情報伝達が難しい場合もあった。今回、

本プロジェクトのコンポーネント1（情報システム）によってDTNにパイロット・システムが導入されており、このシステムへの期待が他省庁からも寄せられている。DTN内でのパイロット・システム活用を経て、同システムのサービス関係省庁への拡張も検討し、GATSへの対応の省庁横断的な情報共有化を円滑化することが期待されている。さらに、DTNサービス担当者や在ジュネーブ担当者によるeメール等を利用した定期的な情報発信なども検討に値する。

提言4：GATS対応と国内サービス産業政策との関連に関する認識の深化

GATSの自由化交渉は対外対応で完結するものではなく、国内サービス産業政策のなかでどのように活用していくかとの視点が重要となる。本プロジェクトではGATSの義務だけでなく、自由化を独自の順序・スピードで行う「権利」についての理解を促進した。こうした理解に基づき、サービス産業政策のなかでGATSの自由を如何に活用し得るかという観点が、(1)国内産業政策全般のなかでどのサービス分野に力点をおくか、(2)個別サービスセクターの産業政策（例えば建設サービス政策、通信サービス政策）のなかで、どのような順序で法・規制を改正し自由化を行うか、といった2つのレベルにおいて、活発な検討がなされていくことが重要である。さらに、多角的貿易交渉であるGATSと地域経済統合（ASEAN等）や二国間経済関係（FTA等）との関連も含め、GATS交渉をより大きな視点から捉えることも必要となる。必要に応じ、関係省庁担当官、内外学識経験者、産業界関係者、さらには議会関係者などの関与も得て、政策オプションやそのインパクトを検討するための調査研究等が行われることが期待される。（金融分野に関しては、FPOよりGATSとFTAの関係についての調査研究の必要性が指摘されている。）

提言5：サービス産業界との関係の強化と活用

GATS交渉を行うにあたり、サービス産業界からのインプットは不可欠となる。本プログラムのGATSコンポーネントにおけるワークショップ2では、各分野毎に産業界からも出席者を得て、政府と産業界とのGATS交渉に関する共通理解の促進に寄与したところである。現状、DTNは産業界からのインプットをアドホックなセミナーの開催を中心に行っているところであるが、毎回異なる出席者に対してGATSの基礎的な理解を促進し、サービス交渉の現状について説明する必要性が生じている。また、各省庁においても、金融サービス分野のように組織的な対応が成果を挙げているセクターがあるものの、他の多くの省庁においては、産業界との連絡チャンネルはあるものの、GATSに関してはそうしたチャンネルが活用されてこなかった。そこで、政府側からの情報提供をより密度の高いものとし、産業界側からのインプットを逡巡することも課題となっている。

（なお、我が国および欧米においては、GATS交渉に関心を有するサービス産業代表者により組織的な対応が行われている。）

参考：日本における「サービス貿易自由化協議会」の活動

1997年、経済団体連合会（当時）は、約100社・団体のサービス関連企業および個別業界団体から成る「サービス貿易自由化協議会」を設立した。同協議会は、政府関係者を提名的に招聘してWTOにおけるサービス自由化の取り組みについて説明を聞くと共に、メンバー企業・団体が海外におけるサービス事業を展開するにあたっての問題点や改善要望をとりまとめ、政府に対して建議している。なお、日本経団連は、サービス貿易に関する問題だけではなく、貿易・投資問題全般を扱う「貿易投資委員会」も有する。

提言6：一般に対する周知活動

これまでDTNは独自に地方においてセミナーを開催し、地方政府および産業界代表者に対してサービス交渉の現状等について説明を行ってきた。提言1（裾野の拡大）、提言2（人材育成）の実現を通じ、政府部内のGATS専門家が拡大することによって、一般に対する周知活動に貢献できる行政官が増加し、こうした活動が活発化することが望ましい。また、eメールやホームページを活用して、一般に対する情報提供を行うことも一案である。（日本の外務省国際機関第一課は、WTO全般に関してメールマガジンを発行し、交渉の進捗や政府の考え方の広報に努めている。）

提言7：新設されたサービス貿易交渉課の機能の活用

DTN内の組織改編に際して、サービス貿易交渉課が新設された。これまでは旧多角的貿易交渉課内にサービス貿易担当官が配されていたが、今後、GATSだけではなく、APEC、ASEAN、二国間経済関係の中でのサービス関連の事項が一元的にサービス貿易交渉課に所轄されることとなった。同課の新設によって、人員が拡充されるとともに、GATS交渉と関連が深い、他のフォーラムでのサービスに関する協議の情報共有化に資するものであることが期待される。これまで行われてきたGATS関連の活動が適切に継続されるとともに、WTO全般を所轄する多角的交渉課との連携し、WTO交渉のアジェンダ全体（農業交渉、鉱工業品市場アクセス交渉等を含む）の中でのサービス交渉の位置付けについても、引き続き十分な考慮が図られることが期待される。

提言8：キャパシティ・ビルディング活動の企画と管理

DTNは独自にセミナーの開催やWTO事務局専門家の招聘等を行っている。また、ドナー開発アジェンダの進捗を受け、今後、益々他のドナーによる貿易関連キャパシティ・ビルディング活動支援が活発化するものと見られる。そこで、DTNは独自の活動、他のドナーの支援による活動を有機的に組み合わせ、内容面での不要な重複を避けるとともに、受け入れ可能なタイミングでキャパシティ・ビルディング活動を進めることが期待されている。

今後、DTNを中心に考慮されるべきキャパシティ・ビルディング活動の一例は次のとおりである。

- ・ ワークショップを通じたサービス関係省庁における中心的な担当官の技術能力の向上（新任のサービス担当官を含む）。WTO 事務局専門家等によるオファー作成に関する指導
- ・ セミナーを通じた一般への周知活動（スパチャイ事務局長帰国の機会を捉えるなど、広報面にも力を入れることも一案）
- ・ サービス産業政策と GATS の下のサービス貿易自由化に関する研究（政策立案過程における交渉の位置付け等）

また、独自のキャパシティ・ビルディング活動を地理的に拡大し、タイ国内のみならず、周辺の ASEAN 諸国と連携した活動の展開、さらには後発加盟国である CLMV 諸国（カンボディア、ラオス、ミャンマー、ヴィエトナム）に対しても WTO 加盟に向けた GATS に関する知識移転を行い、そうした活動を通じて自らのキャパシティの更なる向上に資するなど、DTN のイニシアティブの発揮が期待される。

2.3 AD/CVD 協定の実施能力向上支援《コンポーネント 3》

2.3.1 プログラムの評価

TA コンサルタント・チームは、2 回のワークショップの後、参加者に対してその成果を尋ねるアンケート調査を行った。アンケート調査の分析結果のうち、特に以下の点を強調することができる。

- ・ 主として AD/CVD 措置実務の技術的な側面に焦点を当てたワークショップ（ワークショップ 1）は、参加した政府担当官から高く評価されたが、同時に、なお詳細な AD/CVD 措置のテクニックを提供する研修を実施することが要望されている。
- ・ ワorkshop 2 における日本の経験の紹介とパネル・ディスカッションも、やはり官民の参加者から評価されるとともに、官民協力の重要性についての意識を喚起することができた。
- ・ ワorkshop で得た知識を様々な場面で普及することについて積極的な反応を得ることができた。アンケート結果から見限りでは、そうした努力は各個人の活動の範囲にとどまっているように見受けられるが、組織としての知識普及活動はやはり重要である。この点については、なお検討の余地がある。

これらの諸点に、カウンターパート（Bureau of Trade Interests and Remedies, DFT）からの評価も加味すると、本コンポーネントにおける支援プログラムの成果を以下のように評価することが可能である。

- ・ AD/CVD 措置に関する実務的な知識を提供することを通じて政府担当官の能力向上を図るという目標については、一定の成果を上げることができた。すなわち、政府担当官は AD/CVD の実務手続に関する包括的な枠組みと重要なポイントについての知識を獲得するとともに、これを継続的に向上しようとする動機付けを得ることができた。AD/CVD 措置に係る技術と知識は、およそ一度のワークショップによって網羅することは不可能であり、不断の情報収集や研究・分析によって更新される必要があることを考慮すると、本プログラムの成果は、カウンターパート自身による持続的な能力開発のための慣性を与えたかどうかという観点から評価されるべきである。この観点から、本プログラムは上記のように一定の成果を上げたということができる。また、本プログラムは既にカウンターパートが様々な形で実施している研修プログラムに、新たな経験と視覚を付け加えることができたという点でも評価することができる。
- ・ プログラムは、また、組織的ないし制度的なキャパシティ・ビルディングに対して何らかのインパクトを与えたか否かという点からも評価される必要がある。この

観点からは、例えば公正貿易センターに象徴されるわが国の官民協力の方法について多くの参加者が関心を示したことから、そうしたインパクトを与えることができたと言うことができる。

- 通常の業務レベルにおける官民協力の向上という点については、例えば、政府が民間部門に対していかに迅速に他国の不公正な貿易活動に関する情報を提供することができるか、また、政府がダンピング申し立てを受けた企業に対してどれだけ支援を与えられるかといった観点から評価することができる。この点について、カウンターパート側では、本プログラムのワークショップにおける議論を踏まえて、他国の AD 発動に対する早期警戒システムを導入し、また、他国からの不公正貿易活動への対処法について民間との協議を緊密化する等、システムの改善を図っており、本プログラムは顕著なインパクトを与えているということができる。

2.3.2 提言

上記の評価にもとづき、本コンポーネントにおける一層の能力向上に向けた提言を、以下 3 点について行ってみたい。

提言 1：AD/CVD 措置に関する研修および知識普及の一層の推進

AD/CVD の実務に関する知識や技術の維持・向上にあたっては、前述のとおり継続的な情報の更新が必要である。カウンターパート組織においては、既に様々な形で内部および外部に対する研修を実施しており、今後ともこれを継続することが勧められる。とりわけ、本プログラムのワークショップで使用したテキストを活用し、知識の普及に努めることが望ましい。さらに、本プログラムにおいて導入した情報シェアリング・システムを活用し、政府担当部署間での情報共有を進めるとともに、将来的にはその一部を外部にも公開し、民間部門へのオンラインでの情報提供を可能にしていくことが必要である。

提言 2：AD/CVD 実務における官民協力の一層の推進

上記のとおり、カウンターパート組織においては、既に業務レベルにおける民間との協力体制を強化・向上させている。民間部門からのニーズに日常的に適切に対応していくことは、政府担当官にとって知識と技術を常に向上させる良い圧力となるため、こうした協力を更に推進してゆくことが望ましい。さらに、今次の WTO 交渉における議論の焦点の一つである AD 等ルール面における規律の強化は、とりわけ民間部門の関心の強い問題であり、この点における官民の協力推進も望まれるところである。以下に示す情報センターも活用し、研究会やパブリック・ヒアリング等様々な場で官民間の情報交換や対話を進めてゆくことが肝要である。

提言 3：AD/CVD 等貿易救済措置に関する情報集約センターの設置

官民協力を推進するためには、民間部門の努力も必要である。政府がいかに民間企業を支援しようとも、政府の支援能力には限界があるとともに、民間部門自身の能力向上や民間企業相互の協力が不可欠である。この観点から、AD/CVD 等貿易救済措置に関する全ての情報を集約・蓄積し、これを必要とする人の分析、研修、および政策決定等に供することができるような組織を設置することが望ましい。この組織は、わが国の公正貿易センターのように、他国からのダンピング申し立てに対処するための基礎的な情報を必要とする民間企業にとっての相談センターとして機能するであろう。また、政府にとっては、これを一種のシンクタンク、あるいは民間との協議の拠点として利用することが可能であろう。こうした官民協力の集約センターとしての組織が機能するためには、政府・産業界のみならず、学会、法曹界を含む広範な人的資源のネットワークを有することが必要である。わが国の公正貿易センターについて特筆されるべき点として、同センターが、研究者に対してダンピング調査や交渉過程、紛争解決に関する実際的な知識を提供することにより、学会における専門家の育成に寄与してきたという経緯を考慮すると、広範な人的ネットワークの形成によって、そうした中長期的な人材育成機能をも期待することができる。このような組織は、全く新規に設立するというより、例えば FTI における WTO 委員会のような、既存の民間部門組織を機能強化する形で形成してゆくことが实际的であり、ネットワークとして立ち上げることにより、初期コストを低くすることが適切であろう。ただし、その場合でも政府部門のイニシアチブや情報面での関与が必要である。政府部門からの積極的な働きかけにより、こうした形での機能強化は比較的短期間でなし得るものと思われる。

なお、日本の公正貿易センターは以下の 6 つの機能を標榜しており、これに基づく調査研究、教育及び情報提供、コンサルテーション活動を行っている。

- (1) 貿易問題に関するアンテナ機能（海外情報源を活用した重要な貿易問題に関する情報収集）
- (2) 情報ネットワークとデータ・バンク（日本製品に対する AD ケース、原産地証明規制その他に関する情報収集と分析、報告書発行）
- (3) 政府と産業界のコミュニケーション・チャンネル（AD ルール確立等における官民利害関係者の協議機会の提供）
- (4) ダンピング提訴を受けた企業に対するアドバイザー（アドバイスと弁護士紹介）
- (5) AD 提訴準備のための支援（アドバイス）
- (6) WTO 提訴のための支援（WTO 紛争解決手続のための調査）

2.4 TRIPS のためのキャパシティ・ビルディング 《コンポーネント 4》

2.4.1 支援プログラムに対する評価

(1) トレーナーズ・トレーニングの評価

トレーナーズ・トレーニングの評価は、トレーニング終了後の参加者に対するアンケート調査、DIP 及び講師との協議に基づいて実施した。本トレーニングの主要な目的であった個別テーマに係る内容面での知識移転、教授方法のノウハウに係る知識移転の成果を測るために、アンケートでは、以下の項目を盛り込んだ。

- ・ 本トレーニングは、事前の期待に合致していたか。
- ・ トレーニングを通して、どの程度、新しい知識を身に付けることができたか。
- ・ トレーニングを通して、どの程度、教授方法を身に付けることができたか。
- ・ 将来講師として講義を行う際に、本トレーニングで得た知識はどの程度役に立つか。
- ・ 将来講師として講義を行う際に、本トレーニングで得た教授方法はどの程度役に立つか。
- ・ 将来講師として講義を行う際に、以前よりも自信を持って臨むことができるか。
- ・ 将来講師として講義を行う際に、本トレーニングで得た講師や参加者とのネットワークはどの程度役立つか。

各セッションにおける全般的な満足度は、以下の通りである。

テーマ	満足度	参加者数
a. 個人発明家及び SME のための特許実務 (10 月 3 日実施)	4.0	20
b. 特許出願手続き (10 月 4 日実施)	4.1	20
c. 水際における IPR エンフォースメント (10 月 8 日実施)	3.8	30
d. 民間セクターにおける IPR 管理 (10 月 9 日実施)	4.1	30
e. 商標実務 (10 月 21 日実施)	3.6	42
f. 大学及び研究機関における IPR 管理 (10 月 22 日実施)	3.7	33
g. トレード・シークレット法の基礎 (10 月 24 日実施)	4.4	39

アンケートへの回答はテーマによって異なるが、全般的には内容及び指導方法に関する知識移転について概ね満足である旨、回答を得ることができた。本アンケートは、非常に満足を 5 点、満足を 4 点、普通を 3 点、不満足を 4 点、非常に不満足を 1 点とする 5 段階の評価を実施したが、具体的な評価点数では、指導方法への満足度は 3.4~4.1 点、知識面での満足度は 3.8~4.5 点であった。また、約 85%の参加者が現在のタイの現状に鑑みて、

今回のトレーニングは有益であったと回答している。将来講師としてタイ国内で指導していくに当たって、本コースで得られた知識及び指導方法に関するノウハウ、講師及び参加者間のネットワークが役に立つという回答も多く得られた。指導方法への満足度は 3.6～4.2 点、知識面での満足度は 3.6～4.2 点、ネットワーク構築への満足度は 3.4～4.1 点であった。今後、指導していくに当たって、以前に較べてより自信を持って講義に取り組めると回答した参加者の数も多く、点数にして 3.4～4.2 点であった。

本プログラムの策定に際しては、1 テーマ 1 日という形で比較的時間に余裕のある組み方をしたが、参加者からはまだ時間的に十分ではなかったという声も聞かれた。特許情報検索とその分析手法、発明や新規技術の評価方法等の的を絞ったテーマについて、時間をかけてさらに話を聞きたいという要望も数多く寄せられた。

トレーニング終了後の DIP との協議では、タイ語への翻訳を伴う教材開発とトレーナーズ・トレーニングの試みが極めて意義のあるものであったとの評価を受けた。DIP としては、今回の試みを一度きりのものにせず、この教材を使って継続的に研修を実施していく体制を整備したいとの話があった。具体的には、今回 DIP から参加した人材が DIP 主催のトレーニングにおいて確実に講師を務めるように、実績を重ねていきたいとのことである。また、今後、DIP の機能強化に向けてどのような対策を取る必要があるかを検討することが重要だとの意見も寄せられた。トレーニング・プログラムの持続的な開発が重要であるとの認識も共有されている。今回は参加者のレベルが一定して高く、幅広い機関から知的財産権の専門家が集まったことから、DIP としてはこの度の参加者をリスト化し、今後とも継続的なコンタクトを保っていくような体制を整備できるよう検討したいとの意見も提起された。

(2) 支援プログラム全般に対する評価

トレーナーズ・トレーニングの評価と異なり、本支援プログラム全般に対する定量的評価は非常に難しい。本来、本支援において評価対象となるのは、本プログラムで導入された研修教材及びカリキュラムの開発に係るプロセスそのものであり、その評価のためには今後数年の間に本プロセスが制度化され、利用された上での評価を待たなくてはならない。従って、以下では本プログラムの持続可能性の確保に貢献したと思われる点について、現時点での実績及び評価を記載するに留める。

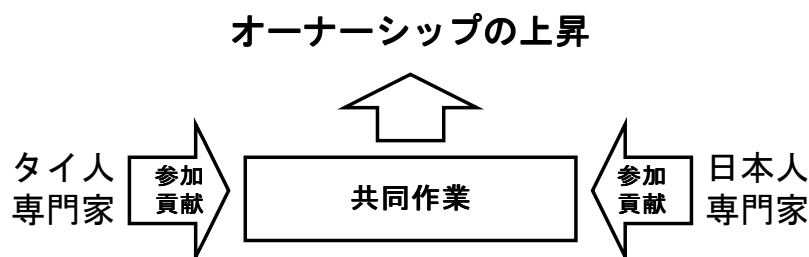
(a) オーナーシップ意識の向上

本プログラムでは、日タイ専門家による共同作業のフレームワークを提供した。これによって、タイの専門家の教材開発プロセスへの参加が可能となり、開発された教材に対する関係当事者のオーナーシップ意識を引き上げることができた。過去のドナー政府及び国

際機関による教材開発等とはもすると一方通行的な部分が多く、開発プロセスにおけるタイ側の関与は限られていた。例えば、第三国で開発された教材をタイ語に翻訳しただけのものや、外国の専門家の間だけで検討・作成・完成されたものが少なくなく、第三者に提供された教材・タイ側の現状が必ずしも十分反映されていない教材的色彩となっていたため、タイ側のオーナーシップ意識が確保され難かった。実態として、提供された教材は参考資料としては有効であっても、トレーニングにおいて自発的な活用につながるプログラムのベースとは成り得なかった。

本プログラムでは、持続可能なシステムの構築に向けた教材開発に最も重点を置き、各教材で取り扱う概念やその作成に至るまでの過程を、受益者であるタイ側関係者との間で十分に共有し、またそれが実際の研修の中でも実践されることに注力した。共同作業の過程を共有することがオーナーシップ意識の醸成に効果があると判断した。本プログラムにおけるこうした共同作業を通じたオーナーシップ意識の確保は、タイにおける更なる教材開発に向けた枠組み構築の重要なスタート地点として機能すると評価されている。タイ側関係者のこうしたオーナーシップ意識の向上は、今後の本枠組みの維持・発展のベースとして欠かせないものであり、本プログラムでの重要な評価ポイントといえよう。

<本プログラムにおける教材開発モデル>



(b) 共通意識の醸成

トレーナーズ・トレーニングでは、知識や指導ノウハウに関する技術移転に加えて、タイ国内の知的財産関係者の中に、知的財産権に係る人材育成についての共通意識を醸成する機会が提供できたと考える。この度のトレーニングでは、DIP、税関、裁判所、検察庁、大学、弁護士、民間企業等、様々な機関に所属する参加者が一同に会したが、このような機会はこれまでタイにおいては必ずしも多くなかった。

本取組みにおいて重要な点は、知的財産権の様々な側面で異なった役割を果たす関係者が一同に会し、同じ教材をベースに様々な視点から議論を交わし、同じ情報と教授方法を共有したことにある。本トレーニング参加者は、近い将来、講師として国内の人材育成の

推進者となることが期待されている。そのため、今回のトレーニングにおいて人材育成に対するベースとなる共通の考え方を得ることができたことは、知的財産権問題を立場・所属機関の相違なくバランスよく捉え、今後、各々の所属団体内における研修機会や一般市民に還元していく際の有効な共通のプラットフォームを提供できたといえる。また、出身母体を超えた幅広い意見交換は、知的財産関連法のエンフォースメントについての客観的な理解を促進し、またその重要性を理解するために重要な基盤とったといえる。

2.4.2 提言

本プログラムでは、教材開発のテーマ選定に当たり、包括的なものを目指すのではなく、むしろ将来の教材開発の基盤となるコア教材の作成に注力した。今後、この試みを実際に運営していくためには、DIP による継続的な努力が求められる。

トレーニングの実施だけでタイ政府の TRIPS 協定実施に関するキャパシティを必ずしも直接的に強化できるという訳ではないが、TRIPS 協定整合的に国内法制度を改正したタイ政府にとっては、知的財産体制に対する一般大衆の認識を高めることは、国内におけるエンフォースメント強化に向けた重要なアプローチの 1 つである。持続可能で具体的なトレーニング・プランを整備し、一旦これを軌道に乗せることができれば、政府職員への研修、産業界への指導、一般大衆への普及啓発活動に多大な効果をもたらし、法令だけでなく権利を含めたエンフォースメントに資するキャパシティ強化につながるものである。

本プログラムを通じて提供された教材開発プロセスの制度的、組織的な強化に向けて、DIP 主導による更なる努力が求められる。以下にその具体的な方法を提言する。

(1) 組織的機能の強化

(a) 講師陣の組織化機能

- 活用可能な教材とリソースの包括的なリスト（インベントリー）の整備
- DIP 内の人材を含めた講師等専門家候補者の包括的なリスト（インベントリー）の整備（大学及びタイ発明者協会等の継続的な協力が見込まれる組織も特定しておくことが重要。）

講師陣の組織化機能を充実させることは、まさに研修プログラム作成のベースとなるものである。現存のデータや情報とともに、本プログラム参加者のプロフィールを併せたデータベースを作成することが望ましい。本データベースは、今後の研修プログラム策定のみならずコーディネーションにも活用可能となろう。

(b) トレーニング・カリキュラムとスケジュールの計画立案機能

- 既存の枠組みと連携したトレーニング・コースのフォーマット化
目的：基本的な普及啓発目的、手続き面に係る情報提供目的、審査官や弁理士等の育成目的 等
レベル：初級、中級、上級 等
期間：半日、全日、2～3日、5日 等
- 対象と規模：一般市民、学生、実務者 等年間スケジュールの作成

今回のプログラムは1日間のトレーニングのモデル事例を提供したもののだが、本プログラムを参考に、目的、期間、対象者に合わせた講座のバリエーションが開発されることが望ましい。本プログラムの成果を最大限に利用するためには、対象者に合わせて適切な問題や課題を抽出し、目次を再編成し、追加的な事例や情報を入れる等の準備から始めることが考えられる。その意味では、本プログラムの講師や参加者との意見交換も、望ましいプログラムを設計する際の有益なツールとなろう。

トレーニングの年間スケジュールの計画を立てることも重要である。それは、リソースの効率的な活用のみならず、参加者側に対して継続的な教育への興味を抱かせることに繋がる。そのための手段として、ニューズレター等のコミュニケーション手段の活用も望ましい。将来講師となる潜在的な人材を確保するためにも、また知的財産の理解に向けたベースを広げるためにも、研修参加者や卒業生を把握し、そのネットワークを維持しておくことが重要である。

他方、トレーナーズ・トレーニングは、断続的にでも継続して実施することが重要である。本プログラムで参加者に提供できたように、こうしたトレーニングを提供することで、講師となる国内の知的財産権関係者に対して改めて共通認識の基礎提供する良い機会になると考えられる。例えば、2～3年毎に1回の割合でも、トレーナーズ・トレーニングが実施されることが期待される。

(c) カリキュラムに合った講師を手配するための調整機能（マッチング機能）

- 教材の更なる開発
- 教材テーマと講師のマッチング

DIP 内部での教材開発は非常に有効な取組みである。しかしながら、効率性を考えると、より早く成果を上げるためには外部専門家や外部組織と連携する方がより現実的であろう。教材の開発に向けて、DIP は大学、知的財産関連政府機関、その他の関連組織との連携機能を強化することが期待される。

なお、後段における「トレーニング計画のメンテナンス」とも関係するが、今回の取組

みで開発された教材を含め、今後開発される教材は、デジタルデータで保存し、テーマ毎に整理できる様にアーカイブを設計整理することが重要であろう。蓄積教材データの状況を確認するだけでどの分野の教材が不足しているかという点をチェックすることができる。また、印刷された教材に関しては、少なくとも上記 DIP との連携をはかる各機関に提供することはいうまでもないが、今後開発される教材についても継続して同じ機関に提供し、各機関における教材のストックが充実することに留意することが重要だ。なお、印刷された教材の他、必要に応じてデジタルデータを CD-ROM 化あるいはインターネット等を通じて配信していくことも検討する必要があるだろう。

開発された教材とそれを担当する講師のマッチングもまた重要な課題である。先に言及したデータベースはこの面での調整においても活用されるべきである。柔軟性を持ったプログラムの企画立案のために、1 つの教材当たり数人の講師が割り当てられている状況が望ましい。

なお、自習可能なトレーニング・プログラムの整備機能も重要なアプローチの 1 つである。各テーマに対して、特定の質問に対する回答が搭載された CD-ROM を準備することから始めるといった現実的な手法も検討の余地があるだろう。

(d) トレーニング計画のメンテナンス機能

- トレーニング教材や記録を編集するシステム（制度・ルール）
- 教材更新やレビューに関するスケジュール

過去に実施したトレーニング記録の管理体制の整備とその体制作りは、データベースの維持や今後のトレーニング・プログラムの設計に不可欠である。従って、定期的なレビューを実施するための予定を立てることが望ましい。

(e) セミナーやシンポジウム等の普及啓発活動とトレーニング・コースの推進機能

- DIP ホームページを通じた一般的な普及啓発
- キャンペーン
- 会報・ニューズレター等の広報活動

知的財産の普及啓発業務は、トレーニング・プログラムとの相乗効果が確保される方法で引き続き実施される必要がある。一般的な普及啓発活動とトレーニング・プログラムとの間のバランスを配慮することが重要だ。

(2) 基本機能強化の上での検討事項

上述された機能強化に係る課題を実現化させるためには、それに必要な DIP スタッフの適正な能力と陣容の確保に係る配慮が必要となる。トレーニング実施体制を改善していくためには、漸進的な取組みを進めるのが現実的な方法ではあるが、なканずく、スタッフの増員やタスク・チームの設置といった検討が初期段階で手当される必要がある。また、持続性のあるトレーニング計画を運営していくという観点からは、やはり「専属」の人材育成専門家の確保が不可欠である。こうした担当者のための人材開発プログラムも、企画・導入しなければならない。したがって、本来は、特定部署に専属チームまたは専属の部を設置するといった取組みが制度的に確保されるような強力な推進体制が確立される必要がある。

人的・予算的な制約上、こうした組織体制を直ちに準備することが必ずしも現実的でない場合は、外部人材の登用やアウトソーシング及び共同作業といった方策も、選択肢の 1 つであろう。どちらの場合においても、公共の利益のために、機密保持、中立性、公平性を確保することが不可欠であるが、外部人材を登用することができれば、組織内での人材育成プログラムを即時に導入する手間は省くことができる。例えば、教育機関、民間企業、知的財産関連団体、国際組織等から DIP への出向という形で、トレーニングを積んだ専門家を直接招聘することも 1 つの案である。また、アウトソーシングや共同作業という選択肢を採用する場合は、既存の外部との連携ネットワークをより広く活用することが考えられる。例えば、DIP が既に審査業務の一部を委託している大学との連携関係を発展的に拡大していくといった方法も検討できるのではないかと。

中期的な展望から言えば、国内の人材育成機関（トレーニングセンター等）といった組織の設立が検討されよう。タイ版のこうした組織設立にあたっては、既存の類似機関の組織体制や機能等を参照することができる。我が国の場合であれば、国内向けの研修に応用できるとすれば、APIC（Asia-Pacific Industrial Property Center）あるいは発明協会の組織・運営体制が参考になろう。APIC は、日本以外のアジア太平洋地域の人材教育のための組織であるが、その体制や活動等はタイの国内版センターのモデルになり得ると考えられる。

トレーニング施設に加え、広範なトレーニング・コースや講師陣等を提供するこのような組織（トレーニングセンター）の設立は、知的財産権に関わるトレーニング、保護、コミュニケーション、研究調査等のレベルをより向上させることに資する。また、政府機関及び民間企業の双方に対して戦略的な諮問機関としての役割にも注目することが重要であろう。途上国の視点にたてば、例えば TRIPS 協定やパリ条約等といった国際的なルールをいかに活用するかといった点に対応できる部署をこうした機関に設置することを検討すること等も、有益ではなかろうか。今後の、国際的な協力プログラム等においては、例えば、センター設立準備委員会の設置等を想定してタイ国内の既存の関係機関の連携をはかるといった点で DIP を支援する等、こうした取り組みの準備過程を支援する余地があるのではないだろうか。

総括して、本件に係る今後の DIP のリーダーシップと自助努力の発揮が、知的財産を管轄する政府機関として最も基本的なスタンスといえる。継続的で効率的なトレーニング実施体制推進のためにも、まずは本プログラムを一つの契機として、DIP による持続的かつ具体的なプランの導入が期待される。

2.5 TBT 協定の実施能力向上支援《コンポネン 5》

2-5-1 プログラムの評価

2 度のワークショップの開催を通じた TBT 協定及び国際標準化作業に関する情報の共有という観点からは、タイ側のプログラムへのコミットメントは十分なものであった。特に TBT 協定に関するキャパシティ・ビルディングを継続的に実施すべきとの TISI の意欲は、国内関係省庁及び関連産業団体をコーディネートする際のリーダーシップという観点からも、極めて大きなものであった。また、2 度のワークショップに併せて実施したアンケート調査の結果から、本プログラムの評価については以下の各点が指摘されている。

- ・ 参加者の多くは、TBT 協定に関連したワークショップやセミナーへの参加の経験が少なく、特に「経験の共有」に主眼をおいた本プログラムの内容については、高い評価がなされている。
- ・ 各ワークショップにおいて実施したタイ側、日本側スピーカーによるパネルディスカッションは、双方が抱える問題点や将来に対する期待を意見交換することができたため、国際標準化分野における将来の日タイ協力にむけての良いステップとなった。
- ・ 第 1 回ワークショップ終了後も、自発的に TBT 協定／国際標準化に関する啓発活動を継続している（特に第 1 回、第 2 回ワークショップとも参加した参加者）。

さらに、ワークショップ講師及びラップアップ・セミナー時のカウンターパート（TISI）のプレゼンテーションなどを総合的に判断すると、本コンポネン 5 に関しては、以下のよう

- ・ 地域セミナーの形ではなく、タイ一国を対象とするプログラムであったため、タイ固有の事情を繁栄させることができたことが、大きな意義を持った。
- ・ また、従来は TBT 協定や国際標準化に関するセミナーやワークショップには、TISI が中心となって参加していたが、本プログラムは TISI 以外の関連省庁が参加することができたため、知識普及の裾野が広がった。
- ・ さらに、民間からの参加を得た意義が大きい。ワークショップにおける国際標準化の経済効果についての言及など、国際標準化活動の重要性を企業のトップマネジメントにも理解してもらうための要素が多かった。
- ・ 情報共有の場を、単発のプログラムで終わらせることなく、今後は年に 1 度の頻度でも継続的に開催することが重要である。

2-5-2 提言

今後、タイが TBT 協定を適切に履行するためには、TBT 協定に関連した議論に関する理解をより深めていく必要がある。また、開発途上の国際標準に対して、自国の関心を繁栄させたり、自国の状況に不都合な国際標準が策定されることのないよう働きかけを行っていくことは、タイにとってとも重要なことである。

本プログラムの活動から明らかになった点として、TA コンサルタント・チームは、以下の2点について提言を行う。

(1) 継続的な意見交換及び経験の共有

経済のグローバル化の進展に対処するためには、タイと日本両国にとって標準化問題に関する意見交換・経験の共有のための機会（ネットワーキング）を持つことがますます重要となってきた。もし両国の政府と民間セクターが政策レベル及び技術レベルにおいて、少なくとも年一度の頻度で標準化関連の事項を幅広く協議することができれば、タイと日本との相互理解がますます深まり、両国は国際標準の策定にあたり協力し、共通の戦略を構築することが容易となるであろう。また、こうした経験の共有が、将来、国際標準化団体における共同幹事の引き受けといった成果につながるものと期待される。

加えて、タイ国内のみならず、周辺の ASEAN 諸国、特に ASEAN の後発加盟国である CLMV 諸国（カンボディア、ラオス、ミャンマー、ヴェトナム）に対して TBT 協定及び国際標準化活動への参加拡大にあたっての経験の共有を行っていくにあたり、TISI のイニシアティブにより、タイをハブとした南々協力を実施していくことが期待される。具体的には、バンコクにおいて TBT 協定の理解促進のための地域セミナーを開催したり、タイ TBT 関係者（主として TISI）が CLMV 諸国に赴いてセミナー／ワークショップ等を実施することが考えられる。特に WTO に加盟していないカンボディア、ラオス、ヴェトナムに対しては、WTO 加盟を踏まえた以下のようなプログラムを実施することが考えられる。

（WTO 加盟を踏まえた TBT 協定能力向上支援）

対象国 : カンボディア、ラオス、ヴェトナム（WTO 未加盟 ASEAN メンバー国）

支援期間 : 各国が WTO 加盟を目指す 2-3 年

形式 : 地域セミナー（バンコク）、あるいは対象国現地におけるセミナー／ワークショップ（年 1-2 回程度開催）

対象者 : TBT 協定の照会業務を担当することとなる省庁及び強制規格の策定に責任を有する象徴の担当者

講師 : TISI 担当者、その他 ASEAN 諸国担当者、日本 METI 担当者、等

テーマ : TBT 協定及び TBT 通報手続きの解説、TBT 協定への対処方法に関する経験の

移転（タイの経験、日本の経験、など）

(2) 国際規格策定にあたっての実務能力の強化

TISI は国際規格の開発手順等に関する実務能力を強化し、これをタイの民間セクタと共有していくノウハウの構築を行うことが必要である。特に、国際標準化団体におけるネゴシエーションスキルについては、多くの国際会議に参加する経験を積むことに加えて、経験豊かな海外の専門家から、継続的な知識移転を受けることが効果的である。これは、技術部門のみならず、経営戦略部門にとっても重要なノウハウとなりうるものである。本プログラムにおいては、家電、自動二輪車、プラスチック、ゴムといった分野を取り上げ、日本の経験をタイに移転することを試みたが、さらにこうした知識移転をタイが関心を有する他の分野に拡大していくことが、将来、重要となる。加えて、本プログラムのワークショップにおいて取り上げた個別テーマに関する報告資料は、今後のキャパシティ・ビルディング活動においても十分に有益なものであると考えられるため、継続的に活用されることが望ましい。

まずは、タイ国内において各種研修プログラムを組成することに加え、海外からの専門家を招聘する形でのワークショップ、セミナーを実施することが望ましい。また、国際会議への参加経験を増加させるためには、TC/SC の幹事国業務を引き受けることが望ましいが、技術的・資金的な困難が伴う場合には、日本をはじめとする経験が豊富な国々と、共同幹事を引き受けるべき、国内の体制整備をはかることが重要である。

(3) 強制規格における任意標準の活用と標準化マスタープランの策定

民間セクターに対し、国際標準の重要性に関する認識をより高めさせるためには、国内の強制規格に積極的に任意標準を取り込み、標準の重要性を高めることが近道であると考えられる。任意標準の活用は、民間セクターのフレキシビリティの拡大につながり、民間が標準に対しより関心を高める契機となりうるためである。日本においては、基準認証分野における規制緩和が進められているが、これは、TBT 委員会においても議論されている「Good Regulatory Practices」の考え方に沿ったものであり、こうした日本の経験をタイに対して移転していくことも重要である。

TISI は、主要国において強制規格における任意標準の活用がどのように進められているかという点に関する研修事業を開催するとともに、民間機関を活用し、国際標準化作業への積極的な参加を前提とした国内標準化体制整備のためのマスタープランづくりを進めることが望ましい。その際、標準化政策の策定に関して豊富な経験を有する海外の専門家を招聘する形で作業を行うことが効率的であると考えられる。

《 附 属 资 料 》

附属資料目次

GATS の実施能力向上支援《コンポネント 2》

AD/CVD 協定の実施能力の向上支援《コンポネント 3》

TRIPS 協定の実施能力支援《コンポネント 4》

TBT 協定の実施能力向上支援《コンポネント 5》

ラップ・アップ・セミナー

セミナー・ワークショップ外部講師リスト

GATS の実施能力向上支援《コンポネント 2》

WTO キャパシティ・ビルディング
タイ・GATS ワークショップ

日程：2002 年 2 月 20～22 日（3 日間）

場所：バンコク市内ル・ロイヤル・メリディアン・ホテル (Concorde Ball Room 5+6)

目的：GATS 協定の実施に関する理解向上

参加者：サービス関連政府機関より約 100 名

言語：英語（一部、タイ語）

司会： 商務省事業経済局（DBE）多国間交渉部通商担当官 Ms Kanita Kungsawanich

モデレーター / マスター・オブ・コンフェレンス：

在ジュネーブタイ政府 WTO 代表部参事官（GATS 担当）Ms. Pimchanok Vonkhorporn

プログラム（敬称略）：

【第 1 日 - 2 月 2 0 日（水）】	
08:30～09:00	レジストレーション
09:00	開会挨拶 タイ商務省事業経済局（DBE）局長 Boontipa Simaskul 在タイ国日本大使館 石川和秀
09:30～12:00	セッション 1 「GATS の重要性と基本（1）」
09:30～10:00	「『掲示板』としての GATS - 発展途上国におけるサービス貿易自由化の重要性」 東京大学教授 小寺 彰
(10:00～10:15)	コーヒープレイク
10:15～10:45	タイ経済/産業におけるサービス産業の現状と GATS タイ開発調査研究所 Dr. Deunden Nikomborirak
10:45～11:30	「発効から 7 年の GATS - 基本理念と進展」 前 WTO 事務局長顧問・元サービス貿易部長 Mr. David Hartridge
11:30～12:00	質疑応答
12:00～13:30	昼食
13:30～15:00	セッション 2 「GATS の重要性と基本（2）」
13:30～14:30	GATS の規定内容と構造 外務省国際機関第一課サービス貿易室 彦田尚毅
14:30～14:45	質疑応答
(14:45～15:00)	コーヒープレイク
15:00～16:30	セッション 3 パネルディスカッション 「これまでの GATS 交渉 - 基本電気通信交渉を素材に」 (パネリスト) ・総務省総合通信基盤局国際経済課通商経済係長 安東高德（日本政府の交渉への対応、参照ペーパー策定等） ・タイ運輸通信省郵便通信局次長 Ms. Chirapa Chitraswang ・ハートリッジ氏 ・三和総合研究所研究員 国松麻季（同交渉のインフラクションと本 WS 第 2/3 日の課題の確認）
マスター・オブ・コンフェレンスによる 1 日のまとめ タイ WTO 代表部 Pimchanok	

【第2日 - 2月21日(木)】	
09:30 ~ 12:00	セッション4「タイ及び主要各国の約束表(1)」
09:30 ~ 10:00	タイの約束表の現状概観-日本等の約束表との比較 三和総合研究所主任研究員 小田正規
10:00 ~ 11:00	約束表のエLEMENTと読み方(スケジューリング・ガイドラインを参考に) ハートリッジ
11:00 ~ 12:00	質疑応答
12:00 ~ 13:30	昼食
13:30 ~ 17:00	セッション5「タイ及び主要各国の約束表(2)」
13:30 ~ 15:30	各分野に共通する約束 (背景にある国内法と約束表への反映状況 - タイ・日本を素材に) 外務省 彦田 商務省事業経済局局長補・多国間交渉シニアエキスパート Mr. Pasit Poomchusri
	分野別約束 分野別交渉を経た約束表の改訂(タイ・日本を素材に)
	通信分野 総務省 安東 タイ運輸通信 Chirapa
	金融分野 タイ財務省金融政策局シニアエキスパート Mr. Pongpanu Svetarundra 三和総合研究所 国松 現行の分野別約束状況(タイ及び中国を素材に) 外務省 彦田 タイ WTO 代表部 Pimchanok
(15:30 ~ 15:45)	コーヒープレーク
15:45 ~ 17:00	ワーキングセッション(自己評価) 質疑応答を含む ハートリッジ氏
マスター・オブ・コンフェレンスによる1日のまとめ タイ WTO 代表部 Pimchanok	

【第3日 - 2月22日(金)】	
09:30 ~ 12:00	セッション6「今次サービス交渉について」
09:30 ~ 10:00	今次サービス交渉の概観 ハートリッジ氏
10:00 ~ 11:00	分野横断的課題(自主的自由化、MFN 例外、国内規制に関する規律)および分野別課題(各国提案の概況) -経済省通商機構部参事官補佐 渡邊伸太郎
11:00 ~ 11:30	今次サービス交渉について -タイ政府 WTO 代表部 参事官 Ms. Pimchanok Vonkhorporn
11:30 ~ 12:00	質疑応答
12:00	閉会 タイ商務省事業経済局多国間貿易交渉課長 Ms. Wiboonlasana Ruamraksa TA コンサルタントチーム リーダー 田中秀和

Analysis of Questionnaire for the GATS Workshop (1)

4, Mar. 2002

TA Consultant Team

1. General questions

(1) Number of respondents

36 (out of 106 participants, 3 from DBE, 7 from transport-related departments and authorities 4 from telecom-related department and authorities, 2 from financial-related departments,)

(2) Length of involvement for WTO-related job

Average 2.8 years

2. Evaluation of the Workshop

(1) Objective of attending Workshop (multiple answers)

[A] To gain a general knowledge of GATS	32	(88.9%)
[B] To gain a knowledge of specific field	20	(55.6%)
[C] To gain a knowledge of Japanese experience	12	(33.3%)
[D] To exchange views with lecturers and participants	9	(25.0%)
[E] Others	4	(11.1%)

(2) Attainment from the Workshop

1) Were your expectations of the workshop met?

Fully met	[A, 5 point]	6	(17.1%)
	[B, 4 point]	18	(51.4%)
	[C, 3 point]	8	(22.9%)
	[D, 2 point]	2	(5.7%)
Not met	[E, 1 point]	1	(2.9%)

Average 3.7 point

2) To what extent did you acquire new knowledge through the workshop?

Very much	[A, 5 point]	5	(14.7%)
	[B, 4 point]	20	(58.8%)
	[C, 3 point]	8	(23.5%)
	[D, 2 point]	0	(0.0%)
Not at all	[E, 1 point]	1	(2.9%)

Average 3.8 point

3) What kind of topics in the workshop do you think is the most beneficial? (descriptions)

- Basic obligations/rights of GATS, GATS in general	6
- Update of negotiations on services	5
- Scheduling guidelines, how to schedule	4
- Horizontal/sectoral commitments	2
- Experience of previous negotiations (incl. Basic telecom panel)	3
- How to prepare negotiations for Thailand	2

4) Do you think the workshop was useful for your country considering the present situation of this field?

Very much	[A, 5 point]	19	(54.3%)
	[B, 4 point]	12	(34.3%)
	[C, 3 point]	3	(8.6%)
	[D, 2 point]	1	(2.9%)
Not at all	[E, 1 point]	0	(0.0%)

Average 3.9 point

(3) Comparison with Own Training Program

1) What kind of workshops related to WTO have you attended recently?

- Introduction of GATS	2
- Introduction of WTO Agreements	2
- Emergency Safeguards	2

*Almost respondents have not answered, or answered “non” to this question..

2) How do you think the impact of this workshop compared with your training program?

Very useful	[A, 5 point]	3	(17.9%)*
	[B, 4 point]	8	(47.1%)*
	[C, 3 point]	5	(29.4%)*
	[D, 2 point]	1	(5.9%)*
Not useful at all	[E, 1 point]	0	(0.0%)*

Average 2.7 point*

* of 17 respondents

3. Outcome of the Workshop

(1) Utilization

1) In your own job, to what extent do you think you can utilize the knowledge acquired from the workshop?

Very much	[A, 5 point]	6	(18.2%)
	[B, 4 point]	18	(54.5%)
	[C, 3 point]	8	(24.2%)
	[D, 2 point]	0	(0.0%)
Not at all	[E, 1 point]	1	(3.0%)

Average 3.8 point

(2) Diffusion

1) In what way do you think you can diffuse the knowledge acquired from the workshop? (multiple answers)

[A] Informing my colleagues or subordinates personally	24	(66.7%)
[B] Giving lectures	4	(11.1%)
[C] Planning training courses and workshops	9	(25.0%)
[D] Others	7	(19.4%)
[E] Cannot be diffused	0	(0.0%)

4. For the future workshop

(1) What sort of training or workshop do you need to further improve your capacity?

- Specific service sectors (financial, telecom)	4
- Recent negotiation development	3
- Impact of liberalization/negotiation on Thai economy/policy	3
- Negotiation skill related (How to make offer, how to negotiate, etc.)	3

(2) What kind of lecturers do you want to be invited? (Ex. Legal practitioners, private sector practitioners, government negotiators, academics, etc.)

- Government negotiators	17
- Private sector practitioners	10
- Academics	8

(3) What is/are sector(s) of services you are most interested in to be taken up for future training/workshop?(multiple answer)

- Horizontal issues	17
- Tourism and travel related services	12
- Business services/professional services	9
- Transport services	8
- Education services	6
- Environmental services	6
- Financial services	6
- Communication services	5
- Distribution services	5

(4) How long do you think the workshop duration is appropriate?

[A] One day	2	(5.9%)
[B] 2-3 days	28	(82.4%)
[C] 3-5 days	3	(8.8%)
[D] One week	1	(2.9%)
[E] More than one week	0	(0.0%)

(5) Others

- Concerning past experience and good documents would be appreciated
- Too many topics in a short time, time should be controlled (some other comments on time management)
- Invitation letter should be clear and e the same as the actual training prevent misconception
- Moderator should respect other guest speakers
- More time for discussion
- Outlook of new services should be included
- Request/offer method should be included
- Competitiveness aspect should be taken up
- Impact / implication (not process itself) should be stressed
- Workshop can be undertaken via website for broader distribution of information
- After this workshop, where should we come back to questions (would like to know contact person)
- Mobile phones should be turned off during the workshop
- Many thanks to JICA and staffs (a few)

APEC 地域 WTO キャパシティ・ビルディング協力プログラム
タイ・GATS ワークショップ (金融サービス)

日時：8月21日(木) 13:30～16:30

場所：グランド・パシフィック・ホテル Room III, 8th Floor

目的：今後のサービス自由化交渉への準備に資する実務的な知識を移転する。

講師：前 WTO 事務局長顧問・元サービス貿易部長/WCI シニア アダプター David Hartridge 氏

出席者：大蔵省金融政策局 (FPO)、中央銀行、保険局、証券管理委員会、主要民間金融団体(銀行協会、金融企業協会、証券企業協会および投資マネジメント企業協会、一般保険業協会、生命保険業協会)より 22 名

言語：英語

カウンターパート：FPO

共同議長：Ms. Ketsuda Supradit, Chief International Monetary Policy Division, FPO

TA コンサルタントチーム 田中団長

プログラム (敬称略)：

13:30～13:40	開会挨拶 TA コンサルタント・チーム団長 田中 秀和
13:40～15:00	David Hartridge 氏の講義 金融サービスの特殊性：金融サービス付属書 金融了解 約束表について 金融分野の提案等
15:00～15:20	コーヒー・ブレイク
15:20～16:30	David Hartridge 氏の講義
16:30	閉会

APEC 地域 WTO キャパシティ・ビルディング協力プログラム
タイ・GATS ワークショップ（観光サービス）

日時：8月22日（木）9:00～12:00

場所：グランド・パシフィック・ホテル Room III, 8th Floor

目的：サービス交渉の現状、自由化と産業競争力の関係等につき、広く観光産業界の理解を促進する。

講師：前 WTO 事務局長顧問・元サービス貿易部長/WCI シニア アダプター David Hartridge 氏

出席者：タイ観光当局（TAT）より 5～6 名および 19 の民間観光団体より各 1 名、計 26 名

言語：英語

カウンターパート：TAT

共同議長：Mr. Auggaphol Brickshawana, Director, Planning Department, TAT

TA コンサルタント・チーム団長 田中秀和

プログラム（敬称略）:

9:00～9:10	開会挨拶 Mr. Auggaphol Brickshawana, Director, Planning Department, TAT TA コンサルタント・チーム団長 田中 秀和
9:10～9:15	タイの現状説明（観光サービスの GATS 交渉にあたっての課題） Ms. Walailak Noypayak, Assistant Director, Research and Statistics Division, TAT
9:15～10:30	David Hartridge 氏の講義 GATS について GATS と観光サービス 交渉の現状 主な交渉提案 主要国の約束状況
10:30～10:50	コーヒープレイク
10:50～11:30	質疑応答
12:00	閉会

APEC 地域 WTO キャパシティ・ビルディング協力プログラム
タイ・GATS ワークショップ（通信サービス）

日時：8月22日（木）13:30～16:30

場所：グランド・パシフィック・ホテル Room III, 8th Floor

目的：交渉の現状、タイ当局の経験と課題

通信分野（電気通信中心）を素材としながら、GATS の基本的な規定および約束表に関する理解を促進すると共に、基本電気通信サービス交渉の経緯と日本の対応を共有する。併せて、今次交渉への準備に寄与する知識を移転する。

講師：前 WTO 事務局長顧問・元サービス貿易部長/WCI シニアアドバイザー David Hartridge 氏

出席者：郵便通信局（PTD）、TAT、CAT および民間通信企業より 26 名

言語：英語

カウンターパート：PTD

共同議長：Ms. Chirapa Chitraswang, Deputy Director, PTD

TA コンサルタントチーム 田中団長

プログラム(敬称略)：

13:30～13:40	開会挨拶 Ms. Chirapa Chitraswang, Deputy Director, PTD TA コンサルタント・チーム団長 田中 秀和
13:40～13:50	基本電気通信交渉の経験と今次交渉の課題 Ms. Chirapa Chitraswang, Deputy Director, PTD
13:50～15:00	David Hartridge 氏の講義 電気通信と GATS 交渉の背景 基本電気通信交渉 今次交渉 タイの約束
15:00～15:20	コーヒー・ブレイク
15:00～16:10	David Hartridge 氏の講義
16:10～16:30	質疑応答
16:30	閉会

APEC 地域 WTO キャパシティ・ビルディング協力プログラム
タイ・GATS ワークショップ (会計サービス)

日時：8月23日(金) 9:00～12:00

場所：グランド・パシフィック・ホテル Room III, 8th Floor

目的：WTO における会計サービス分野のこれまでの成果、自由化にむけた規制当局の役割、交渉の現状等の情報共有を主眼とする。

講師：前 WTO 事務局長顧問・元サービス貿易部長/WCI シニア アドバイザー David Hartridge 氏

出席者：商務省事業登録局 (DCR)、DBE、歳入局、認可会計士・監査士機関、中央銀行、証券管理委員会、教育機関および民間企業より 30 名程度

言語：英語

カウンターパート：DCR

共同議長：Ms.Orajit Singkalavanich, Director General, DCR

(Ms. Wisitsee chintana, DDG)

TA コンサルタント・チーム団長 田中秀和

プログラム (敬称略)：

9:00～9:10	開会挨拶 Ms.Orajit Singkalavanich, Director General, DCR
9:10～9:20	プロジェクトの趣旨説明 TA コンサルタント・チーム団長 田中 秀和
9:20～10:30	David Hartridge 氏の講義 GATS について 自由職業サービスに関する理事会決定 会計士分野の国内規制に関する規律 会計士分野の相互承認ガイドライン 今次交渉について
10:30～10:50	コーヒープレイク
10:50～11:30	David Hartridge 氏の講義
11:30～12:00	質疑応答
12:00	閉会

Analysis of Questionnaire for the GATS Workshop
Financial Service

21, August. 2002
TA Consultant Team

1. General questions

(1) Number of respondents

12 (out of 22 participants;

- Department of Business Economics	4
- Thai Farmer Research Center	4
- Fiscal Policy Office	3
- Securities and Exchange Commission	3
- The General Insurance Association	2
- Department of Insurance and The Office of Securities Control (SEC)	1
- Association of Securities Companies	1
- Bangkok Bank Limited	1
- Association of Investment Management Companies	1
- Thai Commercial Bank	1
- Bank of Thailand (BOT)	1

(2) Length of involvement for WTO-related job

Average 1.7 years

(3) Attendance the previous workshop held in February

Yes - 4 persons No or no answer - 8 persons

2. Evaluation of the Workshop

(1) Objective of attending Workshop (multiple answers)

[A] To gain a general knowledge of GATS	5	(42%)
[B] To gain a knowledge of specific field	8	(67%)
- Financial Service	3	
- To know about developments in financial sector negotiations (issues, regulatory danger etc.)	1	
- China's financial liberalization Asia/Pacific	1	
- Schedule of commitment	1	
[C] To gain a knowledge of Japanese experience	0	(0%)

[D] To exchange views with lecturers and participants	2	(17%)
[E] Others	2	(17%)
- To prepare for the next round of negotiation	1	
- To get broad knowledge about financial services (current regulations and its future prospect).	1	

(2) Attainment from the Workshop

1) Were your expectations of the workshop met?

Fully met	[A, 5 point]	1	(8%)
	[B, 4 point]	8	(67%)
	[C, 3 point]	2	(17%)
	[D, 2 point]	0	(0%)
Not met	[E, 1 point]	1	(8%)

Average 3.7point

2) To what extent did you acquire new knowledge through the workshop?

Very much	[A, 5 point]	3	(25%)
	[B, 4 point]	8	(67%)
	[C, 3 point]	1	(8%)
	[D, 2 point]	0	(0%)
Not at all	[E, 1 point]	0	(0%)

Average 4.1point

3) What kind of topics in the workshop do you think is the most beneficial? (descriptions)

- Everything that's about current issues
- Current issues regarding financial
- Overviews on GATS negotiation, relating to financial services, as it gives general ideas and pictures of what 're really going on in the global level. (given my very basic knowledge of GATS)
- WTO Negotiation/ Thai Commitments
(reason : Good learning process for me as a new comer to this topic)
- How to read the Thailand's commitment table
- Strategy and preparation of negotiation
(reason : Not a knowledge can be obtained easily from other sources)
- The New Round

4) Do you think the workshop was useful for your country considering the present situation of this field?

Very much [A, 5 point] 2 (17%)

[B, 4 point] 10 (83%)

(reason : Because we don't have enough experience. So we need all the help we can get.)

(reason : Prompt awareness and direct a correct path)

[C, 3 point] 0 (0%)

[D, 2 point] 0 (0%)

Not at all [E, 1 point] 0 (0%)

Average 4.2 point

(3) Comparison with Own Training Program

1) What kind of workshops related to WTO have you attended recently?

*All respondents have not answered, or answered “non” to this question..

3. Outcome of the Workshop

(1) Utilization

1) In your own job, to what extent do you think you can utilize the knowledge acquired from the workshop?

Very much [A, 5 point] 4 (33%)

[B, 4 point] 6 (50%)

[C, 3 point] 2 (17%)

[D, 2 point] 0 (0%)

Not at all [E, 1 point] 0 (0%)

Average 4.2 point

2) In case of choosing [D] or [E], what are the obstacles?

*Nobody answers [D] or [E].

(2) Diffusion

1) In what way do you think you can diffuse the knowledge acquired from the workshop? (multiple answers)

[A] Informing my colleagues or subordinates personally 10 (83%)

[B] Giving lectures 3 (25%)

[C] Planning training courses and workshops 1 (8%)

[D] Others: please specify.	2	(17%)
- Working Group on Financial Services Liberalization		
[E] Cannot be diffused	0	(0%)

2) In case of choosing [E], what are the obstacles?

*Nobody answers [E].

4. For the better workshop

(1) Please answer following questions if you had participated in our 1st workshop held in February. (Persons who had not participated in the 1st workshop, please step to the questions (2).)

1) In your own job, to what extent do you think you could utilize the knowledge acquired from the 1st workshop?

Very much	[A, 5 point]	0	(0%)
	[B, 4 point]	3	(75%)
	[C, 3 point]	0	(0%)
	[D, 2 point]	1	(25%)
Not at all	[E, 1 point]	0	(0%)

Average 3.5point

2) In case you choose [D] or [E], what are the obstacles in utilizing what you acquired from the workshop?

- So common

3) Since the 1st workshop, what have you done to maintain or improve the knowledge acquire from it, except for conducting daily work? (multiple answer)

[A] Attended other workshops/seminars on the related topics	2 (50%)
[B] Holding workshops with colleagues or counterparts in other organizations	1 (25%)
[C] Studied further by myself through texts or written materials	3 (75%)
[D] Others: please specify	0 (0%)
[E] Nothing	0 (0%)

(2) What sort of training or workshop do you need to further improve you/your organizations capacity with regard to the GATS?

What kind of topic do you need to be covered?

- Something like this workshop. Any current issues
- The topic which is similar to this workshop.

- Current topics are fairly good
- Current Issues- political & economic. What is driving negotiations? What are other comparable countries doing? What are the new issues being discussed?
- Even deepen knowledge regarding the relation between each field. Do we need to have knowledge of all fields/ sectors to be able to set good negotiation position?
- Dispute settle down on rules in GATS.
- New issue on GATS about "investment" (The relationships between trade and investment)
- what would be the relationship between existing commitments in mode 3 and the investment liberalization negotiations?
- Telecommunications

(3) Others (Any suggestions)

- We should bring in trade experts, outside the WTO to give a talk in order to provide us with a better understanding of the picture. We need to understand the travel more than a repeated lecture on the infrastructure of GATS.
- great documents

Analysis of Questionnaire for the GATS Workshop
Tourism Service

22, August. 2002

TA Consultant Team

1. General questions

(1) Number of respondents

18 (out of 26 participants;

- Staff from Tourism Authority of Thailand (TAT)	5
- Department of Business and Economics (DBE)	3
- Thai Private Sector Organization for the Tourism Promotion and Development (TPT)	1
- Thailand Tourism Society (TTS)	1
- Thai Hotel Association (THA)	1
- The Association of Thai Tour Operators (ATTO)	1
- The Association of Domestic Travel (ADT)	1
- Thai Ecotourism & Adventure Travel Association (TEATA)	1
- Thai Travel Agents Association (TTAA)	1
- Thailand Incentive & Convention Association (TICA)	1
- American Society of Travel Agents (ASTA)	1
- Thai Federation of Provincial Tourist Association (TFOPTA)	1
- Professional Guide Association Thailand (PGA)	1
- The Tourist Transport Association (TTA)	1
- The Travel & Service Transportation Association (TSTA)	1
- The Thai Amusement and Leisure Parks Association (TAPA)	1
- Society of Incentive & Travel Executive (SITE)	1
- Thai Restaurant Association	1
- Thai Boats Association	1
- C&C Restaurant Bangkok	1

(2) Length of involvement for WTO-related job

Average 4.0 years

(3) Attendance the previous workshop held in February

Yes - 2 persons No or no answer - 16 persons

2. Evaluation of the Workshop

(1) Objective of attending Workshop (multiple answers)

[A] To gain a general knowledge of GATS	10	(56%)
[B] To gain a knowledge of specific field	11	(61%)
- Tourism	4	
- Ecotourism	1	
- Tour guide and tourism commitment	1	

- GATS agreement in general and specific commitments of WTO member countries.	1	
- General GATS and tourism sector.	1	
[C] To gain a knowledge of Japanese experience	3	(17%)
[D] To exchange views with lecturers and participants	5	(28%)
[E] Others	1	(6%)
- To gather relevant information on tourism industry.		
- To catch up the movement of WTO on GATS.		

(2) Attainment from the Workshop

1) Were your expectations of the workshop met?

Fully met	[A, 5 point]	4	(22%)
	[B, 4 point]	9	(50%)
	[C, 3 point]	3	(17%)
	[D, 2 point]	1	(6%)
Not met	[E, 1 point]	1	(6%)

Average 3.8 point

2) To what extent did you acquire new knowledge through the workshop?

Very much	[A, 5 point]	4	(22%)
	[B, 4 point]	10	(56%)
	[C, 3 point]	2	(11%)
	[D, 2 point]	1	(6%)
Not at all	[E, 1 point]	0	(0%)

Average 3.8point

3) What kind of topics in the workshop do you think is the most beneficial? (descriptions)

- New round of GATS negotiations.
(reason : new knowledge)
- Proposal on this round negotiations.
(reason : to observe the trend of proposal from various countries)
- Member's commitment on tourism industry.
(reason : Previously have not turned awareness on such industry.)
- to know regulation
- about GATS regulations
- GATS definition on tourism/ limitations/ new challenges
- National benefit

- Limitation in market access and some issue in regard to the presentation of anti-competitive practice.
- Limitation for implementation of WTO agreements.
- everything

4) Do you think the workshop was useful for your country considering the present situation of this field?

Very much

[A, 5 point] 7 (39%)

(reason : Thailand tourism industry is at the moment not very well-regulated and in need of re-structuring.)

(reason : As people concerned should share views in development.)

[B, 4 point] 10 (56%)

(reason : GATS can not be avoid. Therefore, need to prepare for industry to be more competitiveness)

(reason : to enhance understanding among tourism operators.)

[C, 3 point] 0 (0%)

[D, 2 point] 1 (6%)

[E, 1 point] 0 (0%)

Not at all

Average 4.3 point

(3) Comparison with Own Training Program

1) What kind of workshops related to WTO have you attended recently?

*Almost respondents have not answered, or answered “non” to this question..

- GATS scheme on Thailand. Alternative Dispute Resolution (ADR); cases of Thailand and WTO
- We're training program from Tourism Authority of Thailand concern WTO.

2) How do you think the impact of this workshop compared with your training program?

Very useful [A, 5 point] 0 (0%)*

[B, 4 point] 7 (64%)*

[C, 3 point] 4 (36%)*

[D, 2 point] 0 (0%)*

Not useful at all [E, 1 point] 0 (0%)*

Average 3.6 point*

* of 11 respondents

3. Outcome of the Workshop

(1) Utilization

1) In your own job, to what extent do you think you can utilize the knowledge acquired from the workshop?

Very much	[A, 5 point]	4	(22%)
	[B, 4 point]	10	(56%)
	[C, 3 point]	4	(22%)
	[D, 2 point]	0	(0%)
Not at all	[E, 1 point]	0	(0%)

Average 4.0 point

2) In case of choosing [D] or [E], what are the obstacles?

*No answers

(2) Diffusion

1) In what way do you think you can diffuse the knowledge acquired from the workshop? (multiple answers)

[A] Informing my colleagues or subordinates personally	11	(61%)
[B] Giving lectures	4	(22%)
[C] Planning training courses and workshops	6	(33%)
[D] Others: please specify.	2	(11%)
- Working Group on Financial Services Liberalization		
- Use as the basic information. For further research, an ongoing research done for the TAT.		
[E] Cannot be diffused	0	(0%)

2) In case of choosing [E], what are the obstacles?

*Nobody answers [E].

4. For the better workshop

(1) Please answer following questions if you had participated in our 1st workshop held in February. (Persons who had not participated in the 1st workshop, please step to the questions (2).)

1) In your own job, to what extent do you think you could utilize the knowledge acquired from the 1st workshop?

Very much	[A, 5 point]	1	(50%)
	[B, 4 point]	1	(50%)

	[C, 3 point]	0	(0%)
	[D, 2 point]	0	(0%)
Not at all	[E, 1 point]	0	(0%)

Average 4.5 point

2) In case you choose [D] or [E], what are the obstacles in utilizing what you acquired from the workshop?

- Nobody answers [D] or [E].

3) Since the 1st workshop, what have you done to maintain or improve the knowledge acquire from it, except for conducting daily work? (multiple answer)

[A] Attended other workshops/seminars on the related topics	1 (50%)
[B] Holding workshops with colleagues or counterparts in other organizations	1 (50%)
[C] Studied further by myself through texts or written materials	1 (50%)
[D] Others: please specify	0 (0%)
[E]Nothing	0 (0%)

(2) What sort of training or workshop do you need to further improve you/your organizations capacity with regard to the GATS?

What kind of topic do you need to be covered?

- Topic should be more focus on cases about Thailand. Still necessary to have a general knowledge of GATS.
- Trade negotiation skills. Domestic rules and regulations.
- Competitive safeguards. Horizontal limitations.
- Trade in services, particularly on legal profession.
- The topic which concern for domestic agent.
- The topic with concern for the new round agent.
- Competitive development of occupation the world wide
- Evaluation of Thailand initial request on proposal over its down.
- The benefit of the country under liberalization.

(3) Others (Any suggestions)

- Any topic rules on GATS, Trips would be very useful. More PR (in case attending is not restricted.)
- How could the people in developing countries have benefit with the liberalization?

Analysis of Questionnaire for the GATS Workshop
Telecommunication Service

22, August. 2002
TA Consultant Team

1. General questions

(1) Number of respondents

11 (out of 26 participants;

-	Private sector	7
-	PTD	6
-	TOT Corporation Public Company	4
-	DBE	3
-	JICA	2
-	The Communications Authority of Thailand	1
-	National Electronics and Computer Technology Centre	1
-	The Telecommunications Association of Thailand	1
-	Embassy of Japan	1

(2) Length of involvement for WTO-related job

Average 9.5 years

(3) Attendance the previous workshop held in February

Yes - 1 person No or no answer - 10 persons

2. Evaluation of the Workshop

(1) Objective of attending Workshop (multiple answers)

[A] To gain a general knowledge of GATS	2	(18%)
[B] To gain a knowledge of specific field	5	(45%)
- Telecommunication	2	
- e-commerce services	1	
[C] To gain a knowledge of Japanese experience	0	(0%)
[D] To exchange views with lecturers and participants	4	(36%)
[E] Others	0	(0%)

(2) Attainment from the Workshop

1) Were your expectations of the workshop met?

Fully met	[A, 5 point]	3	(27%)
	[B, 4 point]	5	(45%)
	[C, 3 point]	1	(9%)
	[D, 2 point]	2	(18%)
Not met	[E, 1 point]	0	(0%)
Average 3.8 point			

2) To what extent did you acquire new knowledge through the workshop?

Very much	[A, 5 point]	3	(27%)
	[B, 4 point]	7	(64%)
	[C, 3 point]	0	(0%)
	[D, 2 point]	1	(9%)
Not at all	[E, 1 point]	0	(0%)
Average 4.1 point			

3) What kind of topics in the workshop do you think is the most beneficial? (descriptions)

- Basic knowledge of services commitment
- Deep in detail on specific commitment
(reason : In preparing for the new round of WTO.)
- New Telecom commitment
(reason : Prompt awareness and direct a correct path)
- Current situation of telecom negotiation in GATS.
- New round negotiations
(reason : Interested)
- Reference paper and Interconnection Rights
(reason : Most highly anticipated right now in the telecom liberalization.)
- All

4) Do you think the workshop was useful for your country considering the present situation of this field?

Very much	[A, 5 point]	8	(73%)
		(reason : Gives more details on telecom current issues.)	
	[B, 4 point]	2	(18%)
	[C, 3 point]	1	(9%)
	[D, 2 point]	0	(0%)

Not at all [E, 1 point] 0 (0%)
 Average 4.6 point

(3) Comparison with Own Training Program

1) What kind of workshops related to WTO have you attended recently?

*Almost respondents have not answered, or answered “non” to this question..

- skill of negotiation
- ADB Workshop
- GATS Training Program
- Online Training on GATS/WTO Agreement for telecom. Dec, 2001

2) How do you think the impact of this workshop compared with your training program?

Very useful	[A, 5 point]	3	(33%)*
	[B, 4 point]	4	(44%)*
	[C, 3 point]	2	(22%)*
	[D, 2 point]	0	(0%)*
Not useful at all	[E, 1 point]	0	(0%)*

Average 4.1 point*

* of 9 respondents

3. Outcome of the Workshop

(1) Utilization

1) In your own job, to what extent do you think you can utilize the knowledge acquired from the workshop?

Very much	[A, 5 point]	4	(36%)
	[B, 4 point]	6	(55%)
	[C, 3 point]	1	(9%)
	[D, 2 point]	0	(0%)
Not at all	[E, 1 point]	0	(0%)

Average 4.3 point

2) In case of choosing [D] or [E], what are the obstacles?

*Nobody answers [D] or [E].

(2) Diffusion

1) In what way do you think you can diffuse the knowledge acquired from the workshop?

(multiple answers)

[A] Informing my colleagues or subordinates personally	5	(45%)
[B] Giving lectures	3	(27%)
[C] Planning training courses and workshops	5	(45%)
[D] Others: please specify.	0	(0%)
[E] Cannot be diffused	0	(0%)

2) In case of choosing [E], what are the obstacles?

*Nobody answers [E].

4. For the better workshop

(1) Please answer following questions if you had participated in our 1st workshop held in February. (Persons who had not participated in the 1st workshop, please step to the questions (2).)

1) In your own job, to what extent do you think you could utilize the knowledge acquired from the 1st workshop?

Very much	[A, 5 point]	0	(0%)
	[B, 4 point]	1	(100%)
	[C, 3 point]	0	(0%)
	[D, 2 point]	0	(0%)
Not at all	[E, 1 point]	0	(0%)

Average 4.0 point

2) In case you choose [D] or [E], what are the obstacles in utilizing what you acquired from the workshop?

- Nobody chooses [D] or [E].

3) Since the 1st workshop, what have you done to maintain or improve the knowledge acquire from it, except for conducting daily work? (multiple answers)

[A] Attended other workshops/seminars on the related topics	1	(33%)
[B] Holding workshops with colleagues or counterparts in other organizations	1	(33%)
[C] Studied further by myself through texts or written materials	1	(33%)
[D] Others: please specify	0	(0%)
[E] Nothing	1	(0%)

(2) What sort of training or workshop do you need to further improve you/your organizations capacity with regard to the GATS?

What kind of topic do you need to be covered?

- Evaluation of Thailand request in this round
- WTO agreement III. New round of WTO.
- Detail in Telecom Annex and reference paper.
- Specific commitment of negotiation in very small group for 2weeks.
- More details on Interconnection Cost Regimes. As well as some economic approach if any would affect the industry.
- Interconnection Charge. Regulatory Principles.

(3) Others (Any suggestions)

- No answers.

Analysis of Questionnaire for the GATS Workshop
Accounting Service

23, August. 2002
TA Consultant Team

1. General questions

(1) Number of respondents

10 (out of 30 participants;

- Department of Commercial Registration (DCR)	10
- Department of Business Economics (DBE)	4
- Revenue Department	3
- Institute of Certified Accountants and Auditors of Thailand (ICAT)	3
- Securities Exchange Commission	2
- Kasetsart University	1
- Assumption University	1
- Sripatum University	1
- Bangkok University	1
- The University of the Thai Chamber of Commerce	1
- Dhurakitpundit University	1
- Thammasat University	1
- DR. Virach & Associates, Auditing Co.	1
- DIA, Auding Co.	1
- Parpatr Institute	1

(2) Length of involvement for WTO-related job

Average 7.3 years

(3) Attendance the previous workshop held in February

Yes - 1 person No or no answer - 9 persons

2. Evaluation of the Workshop

(1) Objective of attending Workshop (multiple answers)

[A] To gain a general knowledge of GATS	5	(50%)
[B] To gain a knowledge of specific field	5	(50%)
- business services, financial service, telecommunication service		
- Accounting		
- Understanding of WTO - GATS and insight on other countries GATS.		
[C] To gain a knowledge of Japanese experience	1	(10%)
[D] To exchange views with lecturers and participants	3	(30%)
[E] Others	0	(0%)

(2) Attainment from the Workshop

1) Were your expectations of the workshop met?

Fully met	[A, 5 point]	3	(30%)
	[B, 4 point]	6	(60%)
	[C, 3 point]	1	(10%)
	[D, 2 point]	0	(0%)
Not met	[E, 1 point]	0	(0%)

Average 4.2point

2) To what extent did you acquire new knowledge through the workshop?

Very much	[A, 5 point]	4	(40%)
	[B, 4 point]	3	(30%)
	[C, 3 point]	3	(30%)
	[D, 2 point]	0	(0%)
Not at all	[E, 1 point]	0	(0%)

Average 4.1point

3) What kind of topics in the workshop do you think is the most beneficial? (descriptions)

- Suggestions from the speaker.
- Structure of GATS, specific committee and negotiation round.
- Negotiation Process
(reason : Gain general knowledge on what GATS are for.)
- Current situation of negotiation
- On what services Thailand is giving and utilizing.

4) Do you think the workshop was useful for your country considering the present situation of this field?

Very much	[A, 5 point]	6	(67%)
	[B, 4 point]	2	(22%)
	[C, 3 point]	1	(11%)
	[D, 2 point]	0	(0%)
Not at all	[E, 1 point]	0	(0%)

Average 4.6 point

(3) Comparison with Own Training Program

1) What kind of workshops related to WTO have you attended recently?

*Almost respondents have not answered, or answered “non” to this question..

- with the Department of Business Economies

2) How do you think the impact of this workshop compared with your training program?

Very useful	[A, 5 point]	3	(38%)*
	[B, 4 point]	0	(0%)*
	[C, 3 point]	5	(63%)*
	[D, 2 point]	0	(0%)*
Not useful at all	[E, 1 point]	0	(0%)*

Average 3.8 point*

* of 8 respondents

3. Outcome of the Workshop

(1) Utilization

1) In your own job, to what extent do you think you can utilize the knowledge acquired from the workshop?

Very much	[A, 5 point]	3	(33%)
	[B, 4 point]	2	(22%)
	[C, 3 point]	4	(44%)
	[D, 2 point]	0	(0%)
Not at all	[E, 1 point]	0	(0%)

Average 3.9 point

2) In case of choosing [D] or [E], what are the obstacles?

*Nobody answer [D] or [E].

(2) Diffusion

1) In what way do you think you can diffuse the knowledge acquired from the workshop? (multiple answers)

[A] Informing my colleagues or subordinates personally	4	(57%)
[B] Giving lectures	3	(43%)
[C] Planning training courses and workshops	0	(0%)
[D] Others: please specify. - Discuss with our staff and provide information to government agency.	1	(14%)
[E] Cannot be diffused	0	(0%)

2) In case of choosing [E], what are the obstacles?

- Nobody answer [E].

4. For the better workshop

(1) Please answer following questions if you had participated in our 1st workshop held in February. (Persons who had not participated in the 1st workshop, please step to the questions (2).)

1) In your own job, to what extent do you think you could utilize the knowledge acquired from the 1st workshop?

Very much	[A, 5 point]	0	(0%)
	[B, 4 point]	1	(100%)
	[C, 3 point]	0	(0%)
	[D, 2 point]	0	(0%)
Not at all	[E, 1 point]	0	(0%)

Average 3.8point

2) In case you choose [D] or [E], what are the obstacles in utilizing what you acquired from the workshop?

- Nobody answers [D] or [E].

3) Since the 1st workshop, what have you done to maintain or improve the knowledge acquire from it, except for conducting daily work? (multiple answer)

[A] Attended other workshops/seminars on the related topics	0	(0%)
[B] Holding workshops with colleagues or counterparts in other organizations	1	(100%)
[C] Studied further by myself through texts or written materials	0	(0%)
[D] Others: please specify	0	(0%)
[E] Nothing	0	(0%)

(2) What sort of training or workshop do you need to further improve you/your organizations capacity with regard to the GATS?

What kind of topic do you need to be covered?

- Lecture on negotiating skill in services negotiation
- Qualification or licensing barrier.

(3) Others (Any suggestions)

No answers.

AD/CVD 協定の実施能力の向上支援《コンポネント 3》

WTO キャパシティ・ビルディング
タイ・AD/CVD ワークショップ

日程：2002 年 2 月 18～20 日（3 日間）

場所：バンコク市内ル・メリディアン・ホテル (Concorde Ball Room 1 - 2)

目的：AD/CVD 協定の実施に関する理解向上

参加者：DFT、DBE および関連部局より 43 名

言語：英語

プログラム：

【第 1 日 - 2 月 1 8 日 (月)】	
08:40～09:10	レジストレーション
09:10	開会挨拶 Mr. Dhumnoon Cheosakul, Director General of DFT 石川和秀 日本大使館経済班公使
09:40～12:00	セッション 1「AD/CVD 措置における注目すべきイシュー」
09:40～10:10	「AD 協定と紛争解決における問題点」 松下満雄・前 WTO 上級委員
10:10～10:30	「AD/CVD 措置における問題点」 宮崎修二・経済産業省通商政策局通商機構部参事官
(10:30～10:45)	コーヒープレイク
10:45～11:30	「今次 WTO ラウンドにおける AD/CVD に係る論点と日本の姿勢」 宮崎参事官
11:30～12:00	質疑応答 / 意見交換
12:00～13:30	昼食
13:30～17:30	セッション 2「AD 措置の実務(1)」 Dr. Marcno Bronckers and Ms. Natalie McNelis, 欧州法律事務所 (Stibbe)
13:30～15:30	ダンピング調査の手続き / ダンピング価格の算定 (質疑応答を含む)
(15:30～15:50)	コーヒープレイク
15:50～17:30	損害評価と因果関係の特定 / ダンピング防止税の賦課および約束 (質疑応答を含む)

【第2日 - 2月19日(火)】	
09:30 ~ 12:00	セッション3「AD措置対応およびDSの実務(1)」
09:30 ~ 10:20	「熱延鋼板」ケースにおける日本の対応 宮崎参事官
(10:20 ~ 10:35)	コーヒープレイク
10:35 ~ 11:30	上級委員会におけるADケースに関する論点 松下先生
11:30 ~ 12:00	質疑応答 / 意見交換
12:00 ~ 13:30	昼食
13:30 ~ 17:30	セッション4「AD措置対応およびDSの実務(2)」
13:30 ~ 14:15	タイにおけるAD調査の経験 Mr. Stirak Issadisai, Director of Bureau of Trade Interests and Remedies, DFT
14:15 ~ 15:00	質疑応答 / 意見交換
(15:00 ~ 15:20)	コーヒープレイク
15:20 ~ 16:30	パネル委員会 / 上級委員会への提訴方法および委員会勧告の実施 宮崎参事官および松下先生
16:30 ~ 17:30	質疑応答 / 意見交換

【第3日 - 2月20日(水)】	
09:30 ~ 12:00	セッション5「CVD措置の実務(1)」
09:30 ~ 12:00	Dr. Bronckers and Ms. McNelis (Stibbe) 各種補助金の解釈 / 補助金額の算定 / 損害評価と因果関係の特定 / 相殺関税の賦課および約束 (質疑応答を含む)
12:00 ~ 13:30	昼食
13:30 ~ 17:00	セッション6「AD / CVD措置の実務(2)」
13:30 ~ 15:00	Dr. Bronckers and Ms. McNelis (Stibbe) ケース・スタディ (AD / CVD) (質疑応答を含む)
(15:00 ~ 15:20)	コーヒープレイク
15:20 ~ 17:00	ケース・スタディ (AD / CVD) (質疑応答を含む)
17:00	閉会挨拶 Mr. Stirak Issadisai, Director of Bureau of Trade Interests and Remedies TA チームリーダー

Analysis of Questionnaire for the AD/CVD Workshop (1)

1, Mar. 2002

TA Consultant Team

1. General questions

(1) Number of respondents

29 (out of 42 participants, 20 from DFT, 4 from DBE, 3 from OIE, 1 from DIT, 1 unknown)

(2) Length of involvement for WTO-related job

Average 3.1 years

2. Evaluation of the Workshop

(1) Objective of attending Workshop (multiple answers)

[A] To gain a general knowledge of AD/CVD	23	(79.3%)
[B] To gain a knowledge of specific field	10	(34.5%)
[C] To gain a knowledge of Japanese experience	9	(31.0%)
[D] To exchange views with lecturers and participants	16	(55.2%)
[E] Others	2	(6.9%)

(2) Attainment from the Workshop

1) Were your expectations of the workshop met?

Fully met	[A, 5 point]	9	(31.0%)
	[B, 4 point]	19	(65.5%)
	[C, 3 point]	1	(3.4%)
	[D, 2 point]	0	(0.0%)
Not met	[E, 1 point]	0	(0.0%)

Average 4.3 point

2) To what extent did you acquire new knowledge through the workshop?

Very much	[A, 5 point]	7	(24.1%)
	[B, 4 point]	18	(62.1%)
	[C, 3 point]	4	(13.8%)
	[D, 2 point]	0	(0.0%)
Not at all	[E, 1 point]	0	(0.0%)

Average 4.1 point

3) What kind of topics in the workshop do you think is the most beneficial? ? (multiple answers)

- Practices of AD/CVD action	20	(70.0%)
- Views or concept of AD measures	2	(6.9%)
- All topics	2	(6.9%)
- Disputes on AD	1	(3.4%)
- Others	1	(3.4%)

4) Do you think the workshop was useful for your country considering the present situation of this field?

Very much	[A, 5 point]	19	(65.5%)
	[B, 4 point]	9	(31.0%)
	[C, 3 point]	1	(3.4%)
	[D, 2 point]	0	(0.0%)
Not at all	[E, 1 point]	0	(0.0%)

Average 4.6 point

(3) Comparison with Own Training Program

1) What kind of workshops related to WTO have you attended recently?

(Example)

- AD/CVD program organized by WTO Rules Division

*Almost respondents have not answered, or answered “non” to this question..

2) How do you think the impact of this workshop compared with your training program?

Very useful	[A, 5 point]	7	(41.2%)*
	[B, 4 point]	9	(52.9%)*
	[C, 3 point]	1	(5.9%)*
	[D, 2 point]	0	(0.0%)*
Not useful at all	[E, 1 point]	0	(0.0%)*

Average 4.4 point*

* of 17 respondents

3. Outcome of the Workshop

(1) Utilization

1) In your own job, to what extent do you think you can utilize the knowledge acquired from the workshop?

Very much	[A, 5 point]	9	(31.0%)
	[B, 4 point]	16	(55.2%)
	[C, 3 point]	4	(13.8%)
	[D, 2 point]	0	(0.0%)
Not at all	[E, 1 point]	0	(0.0%)

Average 4.2 point

(2) Diffusion

1) In what way do you think you can diffuse the knowledge acquired from the workshop?

(multiple answers)

[A] Informing my colleagues or subordinates personally	21	(72.4%)
[B] Giving lectures	3	(10.3%)
[C] Planning training courses and workshops	9	(31.0%)
[D] Others	4	(13.8%)
[E] Cannot be diffused	0	(0.0%)

4. For the future workshop

(1) What sort of training or workshop do you need to further improve your capacity?

- More details and case studies on AD/CVD	11	(37.9%)
in which: injury analysis	4	(13.8%)
- Safeguard	7	(24.1%)
- Others	10	(34.5%)

for example:

- Competition policy
- Section 201 (US)
- Intellectual property rights
- TRIPS/GATS
- Other measures

(2) What kind of lecturers do you want to be invited? (Ex. Legal practitioners, private sector practitioners, government negotiators, academics, etc.)

- Legal practitioners	19	(65.5%)
- Government negotiators	7	(24.1%)
- Private sector practitioners	5	(17.2%)
- Academics	4	(13.8%)

(3) How long do you think the workshop duration is appropriate?

[A] One day	0	(0.0%)
[B] 2-3 days	18	(62.1%)
[C] 3-5 days	7	(24.1%)
[D] One week	2	(6.9%)
[E] More than one week	2	(6.9%)

(4) Others

- May I suggest a workshop or training course on safeguard agreement and also the relationship between subsidies agreement and agricultural agreement?
- This course is good, but in the next course you should invite various lecturers to exchange their experience.
- We really need safeguard training program and workshop in our office. It will very useful for us.
- The last day schedule is too hectic. It is best to be divided in two days. Inexperienced audience may not catch up with the topic.
- Please also invite some officers from the Bureau of Business Competition, the Department of Internal Trade. The experience in anti-dumping would be a good case study for the domestic competition policy as it is applicable to their works.
- (The next workshop is) 3-5 days would be better, but not in Bangkok, and it would be nice to have documents in advance.

WTO キャパシティ・ビルディング・プログラム AD/CVD ワークショップ (2)
(プログラム)

日程:2002年8月20～21日(2日間)

場所:バンコク市内 国連コンファレンス・センター

目的:AD/CVD 協定の実施に関するタイ政府担当官の能力向上及び官民連携の促進

背景:タイ国では、鉄鋼、化学工業等複数の産業について、欧米および他途上国より AD 調査の対象となったり、実際に AD 措置を発動される事例が増加しており、その対応に苦慮している。AD/CVD 協定の実施にあたっている商務省対外貿易局(DFT)では、産業界に対する AD/CVD 協定関連情報の提供、政府の新ラウンド交渉への取り組み状況の紹介等の活動を行っているが、産業界の関心・ニーズに十分には応えきれていない。この度政府の主催のワークショップを開催する事により、DFT 職員の産業界への対応・指導能力の向上を図り、併せて AD/CVD 協定履行のためのタイ国官民間の良好な体制作りに向けた「対話」を促進する。特に、AD は民間企業から要望の強いルール面での規律強化に向けて、わが国政府としても積極的に提言を行っているところであり、官民の連携が重要となる分野である。日本の産業界の AD 対応事例を取り上げ、民間企業の対応、これを受けての日本政府の対応、官民の連携の経験を紹介し、タイ側官民が双方の立場・取るべき対応を理解することにより連携体制の構築を促進する。

参加者:タイ国商務省(外国貿易局 DFT)、タイ工業連盟(FTI)より 40 名程度

言語:英語

[第1日目-8月20日(火) (午前および午後)]	
08:30 - 09:00	受付
09:00 - 09:30	イントロダクション ・タイ: Ms. Thawiwat Shinkruea, Deputy Director-General, DFT - 本ワークショップの目的 - AD/CVD 協定履行にかかるタイ政府の取り組み - 本ワークショップへの期待 ・日本: 中井信也 JICA タイ事務所長 - タイにおける WTO 関連協力 - 本ワークショップへの期待

セッション 1 (09:30 - 12:00)

- 「貿易救済措置への産業界の取組み」
- 09:30 - 10:20 「日本産業界の取組み」
・スピーカー: 公正貿易センター特別顧問 松本 健 氏
- 10:20 - 10:40 コーヒーブレイク
- 10:40 - 11:30 「タイ産業界の取組み」
・スピーカー: Mr. Apisith John Sutham, Counsel, Price WaterhouseCoopers
Legal & Tax Consultants Ltd.
- 11:30 - 12:00 ・質疑応答 / ディスカッション
・モデレーター: DFT
- 12:00 - 13:30 昼食

セッション 2 (13:30 - 17:00)

- 「日本産業界・日本政府の AD 発動への対応経験」
- 13:30 - 15:00 「鉄鋼産業」
・スピーカー: 新日本製鐵株式会社 総務部 国際法規グループリーダー
佐久間 総一郎 氏
日本政府の対応(経済産業省通商機構部参事官補佐 岩瀬恵一氏)
質疑応答/ディスカッション
・モデレーター: DFT
- 15:00 - 15:20 コーヒーブレイク
- 15:20 - 17:00 「電機産業」
・スピーカー: 三菱電機株式会社 国際部 事業支援グループ専任
菊池 武篤 氏
日本政府の対応(経済産業省通商機構部参事官補佐 岩瀬恵一氏)
質疑応答/ディスカッション
・モデレーター: DFT

[第2日目 - 8月21日(水) (午前および午後)]

セッション 3 (10:00 - 11:30)

- 10:00 - 11:30 「WTOドーハ・ラウンドにおける AD イssue」
- ・スピーカー: 経済産業省通商機構部参事官補佐 岩瀬恵一氏
質疑応答/ディスカッション
 - ・モデレーター: DFT
- 11:30 - 13:00 昼食

セッション 4 (13:00 - 16:00)

- パネルディスカッション「AD の規律の強化とより良い実施に向けて」
- ・パネリスト
タイ: 鉄鋼、化学、電機電子、繊維、食品加工各産業界代表および法律家
日本: 岩瀬氏, 松本氏, 菊池氏, 佐久間氏
 - ・モデレーター
タイ: Dr. Katiya Greigarn (Vice Chairman, FTI Electrical, Electronic & Allied-Industry Club)
日本: 田中秀和 TA チーム・リーダー
- 16:00 閉会挨拶
- ・タイ: Dr. Katiya Greigarn (Vice Chairman, FTI Electrical, Electronic & Allied-Industry Club)
 - ・日本: 田中秀和 TA チーム・リーダー

Result of the questionnaire analysis

<Workshop 2>

1. General questions

(1) Number of respondents

16 (out of 40 participants, 8 from DFT, 3 from DIT, 1 from Customs Department, 4 from private sector)

(2) Length of involvement for WTO-related job

Average 4.8 years

(3) Number of attendance at the previous workshop (workshop 1)

9 (56.3%)

2. Evaluation of the Workshop

(1) Objective of attending Workshop (multiple answers)

[A] To gain a general knowledge of AD/CVD	9	(56.3%)
[B] To gain a knowledge of specific field	6	(37.5%)
[C] To gain a knowledge of Japanese experience	9	(56.3%)
[D] To exchange views with lecturers and participants	7	(43.8%)
[E] Others	0	(0.0%)

(2) Attainment from the Workshop

1) Were your expectations of the workshop met?

Fully met	[A, 5 point]	1	(6.3%)
	[B, 4 point]	7	(43.8%)
	[C, 3 point]	5	(31.3%)
	[D, 2 point]	0	(0.0%)
Not met	[E, 1 point]	1	(6.3%)

Average 3.1 point

2) To what extent did you acquire new knowledge through the workshop?

Very much	[A, 5 point]	1	(6.3%)
	[B, 4 point]	10	(62.5%)
	[C, 3 point]	4	(25.0%)
	[D, 2 point]	0	(0.0%)

Not at all [E, 1 point] 0 (0.0%)

Average 3.6 point

3) What kind of topics in the workshop do you think is the most beneficial? ? (multiple answers)

- Effort by private sector to tackle trade remedies	3	(18.8%)
- Japan experiences of dealing with AD allegation	5	(31.3%)
- Agenda for the AD in the Doha round	5	(31.3%)
- Panel discussion	2	(12.5%)
- Every topic	1	(6.3%)
- Others (irrelevant answers)	2	(12.5%)

4) Do you think the workshop was useful for your country considering the present situation of this field?

Very much [A, 5 point]	5	(31.3%)
[B, 4 point]	7	(43.8%)
[C, 3 point]	3	(18.8%)
[D, 2 point]	0	(0.0%)
Not at all [E, 1 point]	0	(0.0%)

Average 3.9 point

(3) Comparison with Own Training Program

1) What kind of workshops related to WTO have you attended recently?

(Example)

- Workshop 1 (capacity building program)
- AD and competition and dispute settlement
- Workshop of the injury calculation
- Thai's experiences of dealing with AD

2) How do you think the impact of this workshop compared with your training program?

Very useful [A, 5 point]	2	(16.7%)*
[B, 4 point]	5	(41.7%)*
[C, 3 point]	5	(41.7%)*
[D, 2 point]	0	(0.0%)*
Not useful at all [E, 1 point]	0	(0.0%)*

Average 3.8 point*

* of 12 respondents

3. Outcome of the Workshop

(1) Utilization

1) In your own job, to what extent do you think you can utilize the knowledge acquired from the workshop?

Very much	[A, 5 point]	4	(25.0%)
	[B, 4 point]	7	(43.8%)
	[C, 3 point]	4	(25.0%)
	[D, 2 point]	0	(0.0%)
Not at all	[E, 1 point]	0	(0.0%)

Average 3.8 point

(2) Diffusion

1) In what way do you think you can diffuse the knowledge acquired from the workshop? (multiple answers)

[A] Informing my colleagues or subordinates personally	12	(75.0%)
[B] Giving lectures	2	(12.5%)
[C] Planning training courses and workshops	3	(18.8%)
[D] Others	3	(18.8%)
[E] Cannot be diffused	0	(0.0%)

4. For the better capacity building

(1) If you had participated in our 1st workshop;

1) In your own job, to what extent do you think you could utilize the knowledge acquired from the 1st workshop?

Very much	[A, 5 point]	4	(50.0%)*
	[B, 4 point]	2	(25.0%)*
	[C, 3 point]	2	(25.0%)*
	[D, 2 point]	0	(0.0%)*
Not at all	[E, 1 point]	0	(0.0%)*

Average 4.3 point*

*of 8 respondents

2) Since the 1st workshop, what have you done to maintain or improve the knowledge acquired from it, except for conducting daily work? (multiple answers)

[A] Attended other workshops/seminars on the related topics	2	(25.0%)*
[B] Holding workshops with colleagues or counterparts in other organizations	0	(0.0%)*
[C] Studied further by myself through texts or written materials	7	(87.5%)*

[D] Others: please specify	0	(0.0%)*
[E] Nothing	1	(12.5%)*

* of 8 respondents

(2) What sort of training or workshop do you need to further improve your capacity?

What kind of topic do you need to be covered?

(Example)

- In-depth AD calculation method, injury determination, tactic of escaping from AD investigation, how to fill the questionnaire response
- AD procedure in detail, presenting in action role
- Training course on sharing experience between government officials who deal with AD/CVD
- DS (panel); theoretical and practical issues
- The case and the implication of the case with end up by Dispute settlement body
- Design a program cover both 1st & 2nd workshop by providing enough information about AD/CVD, eg, Law, Regulation, etc. and develop all mentioned above to have a real cooperation among governmental, private and other parties
- Training on safeguard

(3) Others

- Even the workshop (2) is not beneficial directly to my present work, but it provides a chance to share experience and comment among Thai & Japanese private and government sections. I think this kind of seminar should be arranged regularly at least once a year.
- I think we should have longer time for discussion on panelist session so that participants who may have more comments or opposite views can present their views clearly.
- This workshop is too rush. We learnt this workshop on last week and don't have enough time to prepare information.
- I would like to get some experience on both side, defense and offence

TRIPS 協定の実施能力支援《コンポネント 4》

TRIPS Component: Trainers' Training Results of Questionnaire

The TA Consultant Team conducted a questionnaire survey to participants of each trainers' training to evaluate its outcome. Subjects and date conducted were as follows.

Subject	Date
a. Patent Application Procedures	October 3, 2002
b. Patent Practices for Individual Inventors and Small & Medium-sized Enterprises	October 4, 2002
c. IPR Regulatory Enforcement at Border Control	October 8, 2002
d. IPR Management in Private Sector	October 9, 2002
e. Trademark Practices	October 21, 2002
f. IPR Management and Utilization of Information in Educational Organizations	October 22, 2002
g. Basics on Trade Secret Act	October 24, 2002

I . General Questions

(1) Number of participants and respondents

Subject	No. of Participants	Breakdown of Participants	No. of Respondents
a.	20	DIP 8, MOSTE 2, University 4, Private Sector 5, etc.	15
b.	20	DIP 7, MOSTE 2, University 5, Private Sector 4, etc.	18
c.	30	DIP 13, Customs Dept. 2, ECID 2, University 4, Private Sector 5, etc	17
d.	30	DIP 4, MOSTE 2, University 3, ECID 1, Private Sector 15, etc.	16
e.	42	DIP 16, Customs Dept. 2, Attorney General Office 1, University 2, Private Sector 10, etc.	16
f.	33	DIP 4, MOSTE 2, Attorney General Office 1, Court 1, University 11, Private Sector 6, etc.	19
g.	39	DIP 4, Court 4, MOSTE 2, University 6, Private Sector 15, etc.	25

2. Evaluation of the Workshop

(1) Objective of attending Workshop (multiple answers)

- [A] To gain expertise to be a good lecturer and improve your teaching skills
- [B] To gain knowledge about specific field
- [C] To gain knowledge about Japanese experience
- [D] To exchange views with lecturers and participants
- [E] Others

	a.	b.	c.	d.	e.	f.	g.
[A]	8 31%	16 41%	9 26%	9 26%	6 22%	13 30%	17 24%
[B]	6 23%	5 13%	10 29%	10 29%	7 26%	12 27%	18 25%
[C]	7 27%	11 28%	8 23%	10 29%	9 33%	5 11%	19 27%
[D]	4 15%	6 15%	8 23%	4 12%	4 15%	14 32%	15 21%
[E]	1 4%	1 3%	0 0%	1 3%	1 4%	0 0%	2 3%
Total	26	39	35	34	27	44	71
	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

(2) Attainment from the Workshop

1) Were your expectations of the workshop met?

Fully met

Not met

(+) [A, 5 points] [B, 4] [C, 3] [D, 2] [E, 1] (-)

	a.	b.	c.	d.	e.	f.	g.
[A]	20 33%	25 36%	20 31%	25 38%	0 0%	15 21%	55 50%
[B]	28 47%	36 51%	32 50%	32 48%	40 69%	36 51%	48 44%
[C]	12 20%	9 13%	12 19%	9 14%	18 31%	15 21%	6 6%
[D]	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	4 6%	0 0%
[E]	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%
Total	60 100%	70 100%	64 100%	66 100%	58 100%	70 100%	109 100%
Average	4.0	4.1	3.8	4.1	3.6	3.7	4.4

2) To what extent did you acquire teaching skills through the training?

Very much

Not at all

(+) [A, 5 points] [B, 4] [C, 3] [D, 2] [E, 1] (-)

	a.	b.	c.	d.	e.	f.	g.
[A]	25 42%	25 36%	15 25%	15 26%	15 25%	10 15%	40 41%
[B]	20 33%	32 46%	28 46%	24 42%	24 40%	28 43%	48 49%
[C]	15 25%	12 17%	15 25%	18 32%	21 35%	21 32%	6 6%
[D]	0 0%	0 0%	2 3%	0 0%	0 0%	6 9%	2 2%
[E]	0 0%	0 0%	1 2%	0 0%	0 0%	0 0%	1 1%
Total	60 100%	69 100%	61 100%	57 100%	60 100%	65 100%	97 100%
Average	4.0	4.1	3.6	3.8	3.8	3.4	4.0

3) To what extent did you acquire new knowledge through the training?

Very much

Not at all

(+) [A, 5 points] [B, 4] [C, 3] [D, 2] [E, 1] (-)

	a.	b.	c.	d.	e.	f.	g.
[A]	30 48%	25 36%	15 22%	20 32%	10 16%	20 27%	65 58%
[B]	20 32%	32 46%	40 60%	28 44%	36 59%	40 54%	48 42%
[C]	12 19%	12 17%	12 18%	15 24%	15 25%	12 16%	0 0%
[D]	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	2 3%	0 0%
[E]	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%
Total	62 100%	69 100%	67 100%	63 100%	61 100%	74 100%	113 100%
Average	4.1	4.1	3.9	3.9	3.8	3.9	4.5

4) Do you think the workshop was useful for your country considering the present situation of this field?

Very much Not at all
 (+) [A, 5 points] [B, 4] [C, 3] [D, 2] [E, 1] (-)

	a.	b.	c.	d.	e.	f.	g.
[A]	35 53%	40 55%	35 45%	30 48%	5 8%	10 18%	80 70%
[B]	28 42%	24 33%	36 47%	24 39%	44 72%	36 63%	28 25%
[C]	3 5%	9 12%	6 8%	6 10%	12 20%	9 16%	6 5%
[D]	0 0%	0 0%	0 0%	2 3%	0 0%	2 4%	0 0%
[E]	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%
Total	66 100%	73 100%	77 100%	62 100%	61 100%	57 100%	114 100%
Average	4.4	4.3	4.5	4.1	3.8	3.2	4.6

(3) Comparison with Your Own Training Program

1) How do you think the impact of this workshop compared with your training program?

Very useful Not useful at all
 (+) [A, 5 points] [B, 4] [C, 3] [D, 2] [E, 1] (-)

	a.	b.	c.	d.	e.	f.	g.
[A]	35 64%	20 35%	20 36%	20 41%	0 0%	20 32%	45 47%
[B]	8 15%	28 49%	36 64%	20 41%	40 73%	32 51%	44 46%
[C]	12 22%	9 16%	0 0%	9 18%	15 27%	9 14%	6 6%
[D]	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	2 3%	0 0%
[E]	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%
Total	55 100%	57 100%	56 100%	49 100%	55 100%	63 100%	95 100%
Average	4.2	4.1	4.0	4.1	3.7	3.9	4.1

3. Outcome of the Workshop

(1) Utilization

1) In your future opportunity as a lecturer, to what extent do you think you can utilize the teaching skills acquired from the training?

	Very much					Not at all	
(+)	[A, 5 points]	[B, 4]	[C, 3]	[D, 2]	[E, 1]	(-)	
	a.	b.	c.	d.	e.	f.	g.
[A]	35 57%	40 56%	15 23%	20 35%	5 9%	30 43%	35 34%
[B]	8 13%	20 28%	40 61%	28 49%	32 56%	24 34%	56 54%
[C]	18 30%	12 17%	9 14%	9 16%	18 32%	12 17%	12 12%
[D]	0 0%	0 0%	2 3%	0 0%	2 4%	4 6%	0 0%
[E]	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%
Total	61 100%	72 100%	66 100%	57 100%	57 100%	70 100%	103 100%
Average	4.1	4.2	3.9	3.6	3.6	3.9	4.1

2) In your future opportunity as a lecturer, to what extent do you think you can utilize the knowledge acquired from the training?

	Very much					Not at all	
(+)	[A, 5 points]	[B, 4]	[C, 3]	[D, 2]	[E, 1]	(-)	
	a.	b.	c.	d.	e.	f.	g.
[A]	30 48%	30 45%	20 29%	20 31%	0 0%	25 34%	35 34%
[B]	24 38%	32 48%	44 63%	36 55%	36 63%	32 44%	60 58%
[C]	9 14%	4 6%	6 9%	9 14%	21 37%	12 16%	9 9%
[D]	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	4 5%	0 0%
[E]	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%
Total	63 100%	66 100%	70 100%	65 100%	57 100%	73 100%	104 100%
Average	4.2	3.7	4.1	4.1	3.6	3.8	4.2

3) In your future opportunity as a lecturer, to what extent do you think you can utilize the network with today's lecturers and participants?

Very much
(+) [A, 5 points] [B, 4] [C, 3] [D, 2] [E, 1] (-) Not at all

	a.	b.	c.	d.	e.	f.	g.
[A]	20 34%	30 43%	15 23%	15 26%	0 0%	15 21%	25 27%
[B]	20 34%	24 35%	36 55%	28 48%	32 58%	32 46%	40 44%
[C]	18 31%	15 22%	15 23%	15 26%	21 38%	21 30%	24 26%
[D]	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	2 4%	2 3%	2 2%
[E]	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%
Total	58 100%	69 100%	66 100%	58 100%	55 100%	70 100%	91 100%
Average	3.9	4.1	3.9	3.9	3.4	3.7	3.8

4) In your future opportunity as a lecturer, do you think you have more confidence in providing lectures and trainings than before?

Very much
(+) [A, 5 points] [B, 4] [C, 3] [D, 2] [E, 1] (-) Not at all

	a.	b.	c.	d.	e.	f.	g.
[A]	25 41%	30 45%	15 23%	20 33%	0 0%	25 35%	20 20%
[B]	24 39%	28 42%	40 61%	32 52%	28 51%	24 33%	64 63%
[C]	12 20%	9 13%	9 14%	6 10%	27 49%	21 29%	16 16%
[D]	0 0%	0 0%	2 3%	2 3%	0 0%	2 3%	0 0%
[E]	0 0%	0 0%	0 0%	1 2%	0 0%	0 0%	1 1%
Total	61 100%	67 100%	66 100%	61 100%	55 100%	72 100%	101 100%
Average	4.1	4.2	3.9	3.8	3.4	3.8	4.0

(2) Diffusion

1) In what way do you think you can diffuse the knowledge acquired from the workshop?

- [A] Informing my colleagues or subordinates personally
- [B] Giving lectures
- [C] Planning training courses and workshops
- [D] Others
- [E] Cannot be diffused

	a.	b.	c.	d.	e.	f.	g.
[A]	11 46%	14 54%	14 74%	11 46%	9 47%	15 54%	23 55%
[B]	6 25%	6 23%	3 16%	6 25%	6 32%	5 18%	5 12%
[C]	6 25%	6 23%	1 5%	4 17%	3 16%	8 29%	10 24%
[D]	1 4%	0 0%	1 5%	3 13%	1 5%	0 0%	4 10%
[E]	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%
Total	24 100%	26 100%	19 100%	24 100%	19 100%	28 100%	42 100%

4. For the future workshop

(1) What sort of training or workshop do you need to further improve you and your organizations' capacity with regard to intellectual property rights? What kind of topics do you need to be covered?

a. Patent Application Procedures

- Prior-art search for university professors
- IP training course for the public
- Patent information search training for trainers
- Patent application technique
- Business strategy by utilizing patent rights with case studies
- How to manage patent administration office, including patent application in electronic way
- Research and marketing in IP works
- Study on IP laws through comparison with foreign countries' practices
- Current situation with regard to patent and problems in Thailand

b. Patent Practices for Individual Inventors and Small & Medium-sized Enterprises

- Petty patent
- Drafting specification and claims
- Comparison between Japanese and Thai laws. Their strong points and weaknesses.
- Patent application procedure
- Patent search
- Utilization of patent rights at SMEs and educational organizations

c. IPR Regulatory Enforcement at Border Control

- Patent mapping
- Patent search
- IP management
- IP trial
- IPR enforcement

d. IPR Management in Private Sector

- IP strategy
- Patent analysis
- Patent application strategy
- Practical patent management, including patent mapping and patent search strategy
- How to deal with violations and infringement of IPR
- Valuation of invention

e. Trademark Practices

- Geographical indications
- Well-known marks and famous marks
- Combination of colors, three dimensional marks, and sound marks
- Trademark search

f. IPR Management and Utilization of Information in Educational Organizations

- Case studies about patent infringement
- IP search and analysis
- IP management and commercialization
- Technology licensing organization
- IP audit
- IP asset management
- IP negotiation technique

- IP mapping

g. Basics on Trade Secret Act

- Technology transfer agreement
- More case studies about trade secret
- Comparison of Thai IP laws and Japanese laws
- Basics on integrated circuit act
- IP arbitration and mediation
- Domain names
- Genetic resources, traditional knowledge and folklore in developing countries.
- IP marketing
- IP management
- Patent search and patent examination
- “Novelty” consideration in patent
- Plant Variety Protection

TBT 協定の実施能力向上支援《コンポネント 5》

第1回ワークショップ

第1回ワークショップは、2002年2月12-13日に、バンコクのル・ロイヤル・メリディアンホテルにて開催された。TISI及び日本の経済産業省との一連の協議の結果、プログラムは以下のように設定された。

5-1-1 第1回ワークショップのプログラム

【第1日 - 2月12日(火)】TBT協定を取り巻く国際環境	
09:00-9:30	レジストレーション
09:30-10:00	開会挨拶 タイ側 Mr. Cherdpong Siriwit, Secretary-General of TISI 日本側 森本 JICA タイ事務所長 山内経済産業賞産業技術環境局工業標準調査室長
10:00-11:30	セッション1 日本の国際標準化政策 山内 徹 氏(経済産業省産業技術環境局工業標準調査室長) (質疑応答)
11:30-13:00	昼食
13:00-16:20	セッション2
13:00-14:30	ISOにおける最新動向 スピーカー 青木 朗 氏(日本工業標準調査会、前ISO副会長) (質疑応答)
14:30-14:50	コーヒープレイク
14:50-16:20	IECにおける最新動向 スピーカー 油本 暢勇 氏 (住友電気工業株式会社顧問、IEC評議会委員) (質疑応答)
【第1日 - 2月13日(水)】TBT協定に関連した経験の共有	
9:00-12:00	セッション3
9:00-10:30	TBT委員会における最新動向 第二回三年見直しの結果)及び日本のTBT通報への対処経験 スピーカー 西脇 修 氏(経済産業省産業技術環境局基準認証ユニット国際チーム長補佐) (質疑応答)
10:30-12:00	タイにおける標準化とTBT協定の実施状況 スピーカー Mr. Supachai Tepatanapong (TISI国際関係部長) (質疑応答)
12:00-13:30	昼食

13:30-16:30	セッション 4
13:30-15:00	MRA：交渉と実施に関する日本の経験 スピーカー 松本 充男 氏（経済産業省産業技術環境局認証課課長 補佐） （質疑応答）
15:00-15:20	コーヒープレイク
15:20-16:30	パネルディスカッション（国際標準化におけるタイ日協力） 議長 タイ側 Mr. Chalit Homhual (Director, Standards Bureau 1, TISI) Mr. Virat Aja-apisit (Expert, Standards Bureau 2, TISI) 日本側 青木 朗 氏（日本工業標準調査会、前 ISO 副会長） 油本 暢勇 氏（住友電気工業株式会社顧問、IEC 評議会 委員） 山内 徹 氏（経済産業省産業技術環境局工業標準調査 室長） 西脇 修 氏（経済産業省産業技術環境局基準認証ユニ ット国際チーム長補佐） （質疑応答）
16:30	閉会 タイ側 Mr. Supachai Tepatanapong（TISI 国際関係部長） 日本側 田中 秀和 氏（TA コンサルタント・チームリーダー）

第 1 回ワークショップの参加者に対するアンケート調査の結果

1. General questions

(1) Number of respondents

39 (out of 50 participants)

(2) Length of involvement for WTO-related job

Average 3.1 years

2. Evaluation of the Workshop

(1) Objective of attending Workshop (multiple answers)

[A] To gain a general knowledge of TBT	33	(84.6%)
[B] To gain a knowledge of specific field	8	(20.5%)
[C] To gain a knowledge of Japanese experience	34	(87.2%)
[D] To exchange views with lecturers and participants	17	(43.6%)
[E] Others	1	(2.6%)

(2) Attainment from the Workshop

1) Were your expectations of the workshop met?

Fully met	[A, 5 point]	5	(12.8%)
	[B, 4 point]	25	(64.1%)
	[C, 3 point]	8	(20.5%)
	[D, 2 point]	1	(2.6%)
Not met	[E, 1 point]	0	(0.0%)

Average 3.9 point

2) To what extent did you acquire new knowledge through the workshop?

Very much	[A, 5 point]	4	(10.5%)
	[B, 4 point]	25	(65.8%)
	[C, 3 point]	9	(23.7%)
	[D, 2 point]	0	(0.0%)
Not at all	[E, 1 point]	0	(0.0%)

Average 3.9 point

3) What kind of topics in the workshop do you think is the most beneficial? ? (multiple answers)

Japanese Standardization Policy	5	(12.8%)
---------------------------------	---	---------

Current Topics in ISO	7	(17.9%)
Current Topics in IEC	4	(10.3%)
Current Topics at the TBT Committee and Japanese Experience	23	(59.0%)
Standardization and Implementation of the TBT Agreement in Thailand	4	(10.3%)
MRA - Japanese Experience of Negotiation and Implementation	15	(38.5%)
Panel Discussion	3	(7.7%)

4) Do you think the workshop was useful for your country considering the present situation of this field?

Very much	[A, 5 point]	12	(30.8%)
	[B, 4 point]	21	(53.8%)
	[C, 3 point]	5	(12.8%)
	[D, 2 point]	1	(2.6%)
Not at all	[E, 1 point]	0	(0.0%)

Average 4.1 point

(3) Comparison with Own Training Program

1) What kind of workshops related to WTO have you attended recently?

(Example)

- TBT/SPS
- Dispute settlement mechanism, Implementation of the TBT Agreement
- Trade Negotiation and dispute settlement
- Anti-dumping
- Trade-related environment
- GATS; Basic telecommunication
- WTO Agreement, AD/CVD
- Non-tariff barriers (consists of TBT, AD, CVD, SPS, Environment and Labor measure)
- Differential treatment for the developing countries
- Dispute settlement workshop

26 (66.7%) of which 39 respondents have not ever attended workshops related to WTO.

2) How do you think the impact of this workshop compared with your training program?

Very useful	[A, 5 point]	2	(8.3%)
	[B, 4 point]	13	(54.2%)
	[C, 3 point]	9	(37.5%)
	[D, 2 point]	0	(0.0%)
Not useful at all	[E, 1 point]	0	(0.0%)

Average 3.7 point

3. Outcome of the Workshop

(1) Utilization

1) In your own job, to what extent do you think you can utilize the knowledge acquired from the workshop?

Very much	[A, 5 point]	8	(20.5%)
	[B, 4 point]	19	(48.7%)
	[C, 3 point]	11	(28.2%)
	[D, 2 point]	1	(2.6%)
Not at all	[E, 1 point]	0	(0.0%)

Average 3.9 point

2) In case you choose [D] or [E], what are the obstacles in utilizing what you acquired from the workshop?

Just one example; “My agency is not responsible for standardization”

(2) Diffusion

1) In what way do you think you can diffuse the knowledge acquired from the workshop? (multiple answers)

[A] Informing my colleagues or subordinates personally	34	(87.2%)
[B] Giving lectures	5	(12.8%)
[C] Planning training courses and workshops	6	(15.4%)
[D] Others	8	(20.5%)
[E] Cannot be diffused	0	(0.0%)

4. For the future workshop

(1) What sort of training or workshop do you need to further improve your capacity?

(Examples)

- Conformity assessment according to Guide 65
- Please arrange workshop on some notations of JIS standards to compare TIS standards on the same products
- Negotiation technique and practice course.
- Case study in each field, after sharing experiences.
- I need workshop by sharing experiences as same as the workshop series I.
- Workshop about SDoC, WEEE, IPP, labeling
- Training on supplier's declaration of conformity, negotiation technique, product liability law, product safety law, different types of CASs (conformity assessment systems)
- Simulation/ exercise of TBT negotiating process
- The negotiation experience on international standard
- Waste management, recycling techniques. Environmental technology verification or certification
- How to prepare ourselves in order to implement APEC MRA in telecommunications (in details) for Phase I and II
- Involvement of food regulators and TBT/SPS.
- Japanese experience for food regulator on TBT and the comment from the member countries.
- How to coordinate or manage resource persons from industries to participate in improving standardization activities in Thailand
- Automotive standards of Thai, Japan and Europe
- How to improve product of SMEs for international standards? Or how to compete under the role of WTO?

(2) What kind of lecturers do you want to be invited? (Ex. Legal practitioners, private sector practitioners, government negotiators, academics, etc.)

Governmental negotiators, private sector practitioners, and legal practitioners are all welcomed.

(3) How long do you think the workshop duration is appropriate?

[A] One day	4	(10.3%)
[B] 2-3 days	31	(79.5%)
[C] 3-5 days	4	(10.3%)
[D] One week	0	(0.0%)
[E] More than one week	0	(0.0%)

(4) Others

- Lecturers should provide practical examples or raise real cases that occur to give clearer pictures.
- There should be more participation from the involved/ concerned private sector.
- To train senior governmental officials to understand the importance of TBT/Standardization especially from Budgeting Office, Ministry of Finance, Ministry of Commerce in order to allocate financial support to the standardization activities.

第2回ワークショップ

第2回ワークショップは、2002年8月27-28日に、バンコクのインペリアル・クイーンズ・パークホテルにて開催された。TISI 及び日本の経済産業省との一連の協議の結果、プログラムは以下のように設定された。

[第1日：8月27日（火）] 国際標準化活動における経験の共有	
08:00 – 09:00	受付
09:00 – 09:40	開会の辞 (タイ側) Mr. Surasak Asavadorndeja (Deputy Secretary-General of TISI) (日本側) 宮本秀夫氏 (JICA タイ事務所次長)
09:40 – 10:00	セッション1準備
<u>セッション 1</u> (10:00–12:30)	国際標準化団体における標準化活動
10:00 -11:15	ISO における標準化活動と日本の経験 スピーカー：奥山通夫氏 (ブリジストン株式会社参与) (質疑応答を含む)
11:15 - 12:30	IEC における標準化活動と日本の経験 スピーカー：柴田和夫氏 (社団法人日本電気工業会家電部長) (質疑応答を含む)
12:30 – 14:00	昼食
<u>セッション 2</u> (14:00 –17:00)	主要国における国際標準化活動の理解
14:00 – 15:20	日本における国際標準化活動の理解 スピーカー：矢野友三郎氏 (経済産業省標準課課長補佐) (質疑応答を含む)
15:20 – 15:40	休憩
15:40 – 17:00	EU における国際標準化活動の理解 スピーカー：経済産業省 (質疑応答を含む)

[第2日 8月28日(水)] TBT委員会及び国際標準化団体における交渉スキルの向上	
<u>セッション 3</u> (09:00-12:00)	国際標準化団体における交渉戦略
9:00 - 10:30	ISOにおける交渉戦略(1):自動二輪車分野 スピーカー:加藤幹夫氏(株式会社本田技術研究所朝霞研究所 TCC 主幹、ISO/TC22(乗用車)/SC22(自動二輪車)議長) (質疑応答を含む)
10:30 - 10:50	休憩
10:50 - 12:20	ISOにおける交渉戦略(2):プラスチック分野 スピーカー:槇宏氏(日本プラスチック工業連盟規格部長、ISO/TC138(プラスチックパイプ)幹事) (質疑応答を含む)
12:20 - 14:00	昼食
<u>セッション 4</u> (13:30 - 16:30)	国際標準化に関する将来戦略
14:00 - 15:00	タイ政府/産業の直面する問題点 スピーカー:Ms. Rachada Isarasenarak (Director, Branch 5, Standards Bureau 2, TISI) (質疑応答を含む)
15:00 - 15:20	休憩
15:20 - 16:50	パネル・ディスカッション:国際標準化活動における日-タイ協力のあり方 議長:スパチャイ TISI 国際関係部長 パネリスト(タイ側)議長を除く 2-3名 (日本側) 奥山通夫氏 柴田和夫氏 加藤幹夫氏 槇宏氏 Ms. Rachada Isarasenarak
16:50	閉会の辞 (タイ側)スパチャイ TISI 国際関係部長 (日本側)小田正規氏(JICA TA チーム)

第1回ワークショップの参加者に対するアンケート調査の結果

1. General questions

(1) Number of respondents

17 (of which 32 participants)

(2) Length of involvement for WTO-related job

Average 5.4 years

(3) Attendance of the workshop 1

10 (of which 17 answers)

2. Evaluation of the Workshop

(1) Objective of attending Workshop (multiple answers)

[A] To gain a general knowledge of TBT	7	(41.2%)
[B] To gain a knowledge of specific field	7	(41.2%)
[C] To gain a knowledge of Japanese experience	16	(94.1%)
[D] To exchange views with lecturers and participants	4	(23.5%)
[E] Others	0	(2.6%)

(2) Attainment from the Workshop

1) Were your expectations of the workshop met?

Fully met	[A, 5 point]	0	(0.0%)
	[B, 4 point]	7	(41.2%)
	[C, 3 point]	7	(41.2%)
	[D, 2 point]	1	(5.9%)
Not met	[E, 1 point]	1	(5.9%)
	NA	1	(5.9%)

Average 3.3 point

2) To what extent did you acquire new knowledge through the workshop?

Very much	[A, 5 point]	1	(5.9%)
	[B, 4 point]	8	(47.1%)
	[C, 3 point]	6	(35.3%)
	[D, 2 point]	1	(5.9%)
Not at all	[E, 1 point]	0	(0.0%)
	NA	1	(5.9%)

Average 3.6 point

3) Do you think the workshop was useful for your country considering the present situation of this field?

Very much	[A, 5 point]	1	(5.9%)
	[B, 4 point]	8	(47.1%)
	[C, 3 point]	6	(35.3%)
	[D, 2 point]	1	(5.9%)
Not at all	[E, 1 point]	0	(0.0%)
	NA	1	(5.9%)

Average 3.6 point

(3) Comparison with Own Training Program

1) What kind of workshops related to WTO have you attended recently?

- AD
- TBT workshop held in February 2002

7 (41.2%) of which 17 respondents have not ever attended workshops related to WTO.

2) How do you think the impact of this workshop compared with your training program?

Very useful	[A, 5 point]	1	(5.9%)
	[B, 4 point]	4	(23.5%)
	[C, 3 point]	2	(11.8%)
	[D, 2 point]	0	(0.0%)
Not useful at all	[E, 1 point]	0	(0.0%)
	NA	10	(58.8%)

Average 3.9 point

3. Outcome of the Workshop

(1) Utilization

In your own job, to what extent do you think you can utilize the knowledge acquired from the workshop?

Very much	[A, 5 point]	0	(0.0%)
	[B, 4 point]	3	(17.6%)
	[C, 3 point]	13	(76.5%)
	[D, 2 point]	0	(0.0%)
Not at all	[E, 1 point]	0	(0.0%)
	NA	1	(5.9%)

Average 3.2 point

(2) Diffusion

In what way do you think you can diffuse the knowledge acquired from the workshop?
(multiple answers)

[A] Informing my colleagues or subordinates personally	13	(76.5%)
[B] Giving lectures	1	(5.9%)
[C] Planning training courses and workshops	0	(0.0%)
[D] Others	2	(11.8%)
[E] Cannot be diffused	0	(0.0%)

4. For the better capacity building

(1) Utilization of knowledge after the workshop 1 (for the participants of the workshop 1)

1) Degree of utilization in job

Very much	[A, 5 point]	0	(0.0%)
	[B, 4 point]	0	(10.0%)
	[C, 3 point]	9	(90.0%)
	[D, 2 point]	0	(0.0%)
Not at all	[E, 1 point]	0	(0.0%)
	NA	1	(10.0%)

Average 3.0 point

2) Maintenance/improvement of knowledge after workshop 1

[A] Attended other workshops/seminars on the related topics	2	(20.0%)
[B] Holding domestic workshops with colleagues or counterparts in other organizations	1	(10.0%)
[C] Studied further by myself through texts or written materials	6	(60.0%)
[D] Others	0	(0.0%)
[E] Nothing	1	(10.0%)

(2) What sort of training or workshop do you need to further improve your capacity?

(Examples)

- Labeling
- GRP
- Experiences how to handle the comments of WTO member countries
- Standardization activities in medical devices/cosmetics and experiences in Japan
- Electrical field should be focused.
- Vehicle standards harmonization (process, evaluation, difficulties, future work etc.)
- 1 or 2 days training in the negotiation techniques to all relevant person in organization

(3) Others

- There should be a bigger workshop (about 100-200 participants)
- More interactions between speakers and audience should be added.

ラップ・アップ・セミナー

ラップアップ・セミナー

「WTO キャパシティ・ビルディングと貿易イニシアティブの展望」

2002年11月11日(火) 9:00-16:00

Conference Room II, level 2, United Nations Conference Center

プログラム

(敬称略)

08:00-09:00	レジストレーション
09:00-09:30	開会挨拶 <ul style="list-style-type: none"> 日本側代表：在タイ国日本大使館公使 大江博 タイ側代表：商務省貿易交渉局(DTN)局長 Apiradi Tantraporn
09:30-12:00	基調講演 「WTO キャパシティ・ビルディングの重要性と今後の展望」
09:30-10:20	基調講演(1) 「ドーハ開発ラウンド - キャパシティ・ビルディングの重要性」 <ul style="list-style-type: none"> DTN 局長 Apiradi Tantraporn
10:20-10:40	コーヒーブレイク
10:40-11:30	基調講演(2) 「更なるキャパシティ・ビルディングに向けて」 <ul style="list-style-type: none"> 外務省経済局参事官 渡邊頼純
11:30-12:00	質疑応答
12:00-13:30	昼食 Dinning Room, level 1
13:30-15:20	パネル・ディスカッション 「WTO キャパシティ・ビルディングの成果と将来のチャレンジ」 <ul style="list-style-type: none"> モデレーター：DTN 局長補佐代行 Wiboonlasana Ruamraksa JICA WTO TA チーム団長 田中秀和 * WTO キャパシティ・ビルディング活動の概観 パネリスト：タイ側コンポーネント・カウンターパート代表 <ol style="list-style-type: none"> 組織体制強化: DTN (Wiboonlasana Ruamraksa) GATS: DTN (Surat Srisuwanpatai) AD/CVD 協定: Department of Foreign Trade (Arkom Sitabtim) TRIPS 協定: Department of Intellectual Property (Dr. Kajit Sukhum) TBT 協定: Thai Industrial Standards Institute (Supachai Tepatanapong)
15:20-15:40	質疑応答
15:40-16:00	閉会挨拶 <ul style="list-style-type: none"> 日本側: JICA 鉱工業開発調査部部長 丸山芳樹 タイ側: DTN 局長補佐代行 Wiboonlasana Ruamraksa

Analysis of Questionnaire for WRAP UP SEMINAR
“WTO Capacity Building and Prospect for Trading Initiative”

11 November, 2002

TA Consultant Team

I. General Questions

(1) Number of respondents

34 (out of 88 participants);

- | | |
|---|---|
| - DTN | 3 |
| - Counterparts of the Components of this Program (DFP, DIP, TISI) | 4 |
| - Governmental department and agencies participated this Program
(Ministry of Foreign Affairs, Customs Department, Post and Telegraph Department,
Department of Land Transport) | 7 |
| - Other governmental department and agencies
(Department of Business Development, Department of Alternative Energy,
Department of Industrial Works, JETRO etc.) | 9 |
| - Private sector industrial groups and companies
(Thai Industrial Association, Sahaviriya Steel Industries PLC., etc.) | 9 |
| - Universities (Chulalongkorn University, etc.) | 2 |

(2) Length of involvement for WTO-related job

Average 3.1 years

(3) Attendance the previous workshop held in February

Yes - 13 persons No or no answer - 21 persons

II. Evaluation and Comments to JICA WTO Capacity Building Activities

Please describe any comments and evaluation to our Program.

[Comments on Wrap Up Seminar – positive]

- I've impressed with quality of the work and the efficiency of your organizing the seminar.
- This program is of great help to our country as a whole. I myself really appreciate the Japanese Gov. and Thai Gov. via JICA and Department of Trade Negotiations in cooperating organize the workshops to educate the essential knowledge and information to the official concerned. However, as for me, I am not directly involved with WTO context but the representative from my office has had an urgent obligation, consequently, I am attending this workshop on his behalf. I am really pleased that my boss assigned me to attend this workshop

today.

- Satisfied. Thank you. But in-house training is more beneficial.
- Relatively good. Thank you very much for all efforts and energy.

[Comments of Wrap Up Seminar – suggestions for improvement]

- Quite satisfied with the program for myself but don't know about other participants as I had noticed that some of them were not really interested in the workshops, might be that they are not involved/related to the subjects, resulting in inefficiently participation. Therefore, participants should be carefully and properly selected in order to fulfil the objectives of the workshops.
- The content of the seminar may be too shallow. Further discussion on how to create the capacity building should be discussed. Not only how the capacity building scheme will be provided by developed countries, but how developing countries themselves can do to increase their capacity shall be discussed.
- The program should have more examples for more understanding in each topic. The difference between products should be described for understanding of specific characteristics of trade negotiation. The seminar should be set up the sub-group to discuss and change the ideas among the members.
- Program is too short. I think program should be held at least 2 days.

[Comments of previous activities of the Program - general]

- It's very good opportunity to transfer knowledge related to WTO Capacity Building activities from JICA. More and more people will have more understanding about WTO regulation. As speaker said, trade is the engine for economic development, so this activity is very appreciated for us.
- From comments by various speakers, I feel that the program must be useful and effective.
- I'm very much appreciated with these activities. Nevertheless, sometimes it seems very difficult to prepare a proposal and submit to JICA since I have no ideas concerning JICA criteria to approve some projects or proposal.
- This is my first time attending this activity. I'd propose, please keep in touch with Thai FDA. We'd need continual programs of your work. For now, I have no comments for this activity but the WTO-ISS is very interesting.

[Comments of previous activities of the Program – specific components]

- I have attended one seminar on AD/CVD in February I'm very satisfied with that seminar especially from external speaker- Mr. Macro Bronkers.
- The workshop 2 in service is too short to make all participants understand all points.

- Before having this technical assistance, I have insufficient knowledge and experience of AD/CVD practices. Sometimes, I have misunderstanding in AD/CVD Agreement. After those seminars, I have more understood in the field, and bring the knowledge to adapt with my jobs. For second seminar, it doesn't have much sharing the views or experiences between both private sectors.
- I was one of the staffs to be involved with making textbook of trainer's training (TRIPS). For me, I found it difficult to make textbook when lectures send document very late (because we had to arrange to have some experts translate textbook into Thai language for very short time). Anyway, I saw participants at the seminar (trainer's training) enjoy discussing with both Thai and Japanese lecturers. I think these activities will be helpful.

III. For the Better Capacity Building

To consider the sustainable way to improve WTO related capacity, could you kindly give us your frank comments or suggestions.

[Further issues - general]

- Give general information on WTO rules. Problems in implementing WTO rules. Dispute Settlements. Contents abuse WTO rules and regulations.
- technology transfer in all aspects

[Further issues - specific]

- If it's possible, we can set the expert team in telecommunications (or the one who involved with WTO in the next round) and JICA set some experts from WTO to work with our expert team directly. In telecommunications, we committed to APEC MRA which will begin in 2004 (in phrase) and we need some assistance from JICA also.
- In my opinion, the public-private sectors still need to have more experience in calculating method (especially injury margin calculation). Dispute Settlement Proceeding: Case Discussion. Thank you for your kind cooperation. We hope that we will support from your agency in the near future.
- There should be a follow-up seminar, sharing experiences among participants, to see how well the information/knowledge gained from the workshops is implemented. As previous workshops, future workshops or technical assistance should be focused on practical aspects, such as WEEE, GMO labeling, etc; through Japanese experiences and technical assistance in long term basis. Training for trainers should be organized.
- There are IP new laws in Thailand. Such as geographical indication, trade secret. It is necessary to make people to know new laws. JICA and WIPO must hold the seminars on IP new Laws. Please hold the seminar for these cases.

- We still need Japanese cooperation in the field of: Sharing Experience Transfer of negotiation skills In-house training TBT&MRA technical experts. We need Technical Experts (in-house) for improve our TBT&MRA (Telecom Equipment) activities. And also Telecommunications Negotiation.

[Methodology of capacity building]

- The interpreter is very lively when delivers translation version of the speech. This can help the participants enjoy the seminar. Also, there should be the afternoon break so that participants have a little time to relieve oneself. Thank you.
- WTO is based on concepts of free markets. Free markets are not a viable economics structures without some way to address market failure, including welfare, anti-competition law, etc. More needs to be done to build in these ancillary structures. Personally I feel some sorts of managed trade warrant consideration, such as extended photo systems.
- Actually information published was too complicated compared to the information given today, which is much easier to understand. So future publication & training in a easily understanding would be much better. On next program please offer related request from the other sector as well.
- More concrete examples might make the programs more attractive, particularly for private sector.
- Continual education and training. Closer cooperation between the government and the private sectors, in the form of information sharing, consultation and seminar.
- Training, seminars and activities should be held more often.
- Different levels of capacity building programs should be considered for each prospect, developing on the participants. For example, fundamental/basic course for the new comer participants, and the comprehensive and complicated course for those who have passed that basic level course.
- I suggest an exchange program of human resources. This may help on the way of thinking in both Thai and Japanese counterparts.
- To encourage the university or educational institution to participate more in training course about WTO and WTO related issues, especially the instructors who are responsible for teaching the subject concern international agreement or international business. To organize free lectures/course concerning WTO and WTO related issues for people who are interested.

[Participants of capacity building]

- The program should be extended to other organizations/private sectors that are affected by WTO(negotiations). Many industries still have vague idea about the impacts from WTO.
- By and large, all the activities that you have done is of great help. I anticipate the active

participation from all organizations concerned. I do hope that this will strengthen the efficiency of Thai officials and Thai representatives to equip themselves with the free trade under WTO in the very near future. I hope these kinds of workshop would be arranged in the future and these will be continued assistance from the Japanese Gov. and other developed countries as well.

セミナー・ワークショップ外部講師リスト

組織	所属・肩書	氏名（敬称略）	セミナー・WS
経済産業省	通商機構部 参事官補佐 前通商機構部 参事官補佐	渡邊伸太郎	GATS
	通商政策局通商機構部 参事官	宮崎修二	AD/SCM
	貿易経済協力局 特殊関税等調査チーム	宮崎拓夫	AD/SCM
	通商政策局通商機構部 参事官補佐	岩瀬恵一	AD/SCM
	産業技術環境局規準認証ユニット 工業標準調査室長	山内徹	TBT
	産業技術環境局基準認証ユニット 国際チーム調整担当補佐	西脇修	TBT
	産業技術環境局標準課 課長補佐	矢野友三郎	TBT
外務省	経済局国際機関一課サービス貿易室 課長補佐	彦田尚毅	GATS
	参事官	渡邊頼純	ラップアップ・セミナー
他省庁	総務省総合通信基盤局国際経済課 通商経済係長	安東高德	GATS
	特許庁特許審査第四部 画像処理審査官	廣瀬文雄	TRIPS 教材開発・T/T
学識者	東京大学教授	小寺 彰	GATS
	成蹊大学教授（前 WTO 上級委員）	松下満雄	AD/SCM
	九州大学 大学院法学研究科 助教授	熊谷健一	TRIPS 教材開発・T/T
日本民間専門家	公正貿易センター 特別顧問	松本健	AD/SCM
	三菱電機株式会社 国際部事業支援グループ専任	菊池武篤	AD/SCM
	新日鐵株式会社 法務部国際法規グループリーダー	佐久間総一郎	AD/SCM
	葵特許事務所 弁理士	西森浩司	TRIPS 教材開発・T/T
	松原・村木国際特許事務所 弁理士	松原伸之	TRIPS 教材開発・T/T
	東京工業大学大学院 講師	國枝高羽	TRIPS 教材開発・T/T
	香原・藤田特許事務所 弁理士	藤田雅彦	TRIPS 教材開発・T/T
	日本規格協会 顧問 （JISC 委員、ISO 前副会長）	青木朗	TBT
	住友電気工業株式会社 顧問 （IEC 評議会メンバー）	油本暢勇	TBT
	ブリジストン株式会社 参与	奥山通夫	TBT
	社団法人日本電機工業会 家電部 次長	柴田和夫	TBT
	株式会社本田技術研究所 朝霞研究所 TCC 主幹	加藤幹夫	TBT
	日本プラスチック工業連盟 規格部長	槇宏	TBT

組織	所属・肩書	氏名（敬称略）	セミナー・WS
第3国専門家	White Case International シニアディレクター （元 WTO 事務局長顧問・ 前サービス貿易部長）	Mr. David Hartridge	GATS
	Stibbe / Wilmer, Cutler & Pickering	Mr. Marco Bronckers, Ms. Natalie McNelis	AD/SCM
タイ専門家	タイ政府 WTO 代表部 参事官	Ms. Pimchanok Vonkhorporn	GATS
	タイ運輸通信省郵便通信局 次長	Ms. Chirapa Chitraswang	GATS
	タイ商務省事業経済局局長補・多国間交渉 シニアエキスパート	Mr. Pasit Poomchusri	GATS
	タイ財務省金融政策局 シニアエキスパート	Mr. Pongpanu Svetarundra	GATS
	タイ開発研究所	Dr. Duenden Nikomborirak	GATS
	商務省外国貿易局 貿易利益救済部長	Mr. Sutirak Issadisai	AD/SCM
	プライスウォーターハウスクーパース 弁護士	Mr. Apisith John Sutham	AD/SCM
	商務省知的財産権局 局長	Mr. Yanyong Phuangrach	TRIPS 教材開発・T/T
	商務省知的財産局 特許部長	Mr. Surat Tasanawijitwong	TRIPS 教材開発・T/T
	税関局 法務部チーフ	Ms. Rashneewan Rwirath	TRIPS 教材開発・T/T
	税関局 法務担当官	Mr. Prapun Pitsamayaron	TRIPS 教材開発・T/T
	Srithai Superware Public Co., Ltd. R & D マネージャー	Mr. Narin Vipada	TRIPS 教材開発・T/T
	Domnern, Somgiat & Boonma 弁護士	Mr. Boonma Tejavanija	TRIPS 教材開発・T/T
	Domnern, Somgiat & Boonma 弁護士	Mr. Rutorn Nopakun	TRIPS 教材開発・T/T
	チュラロンコン大学教授	Prof. Prasit Prapinmongkolkarn	TRIPS 教材開発・T/T
	前商務省知的財産局 副局長	Mr. Santi Rattaanasuwan	TRIPS 教材開発・T/T
	商務省貿易交渉局 局長	Ms. Apiradi Tantraporn	ラップアップ・セミナー
	商務省貿易交渉局 局長補佐代行	Ms. Wiboonlasana Ruamraksa	ラップアップ・セミナー
	商務省貿易交渉局 上級貿易担当官	Mr. Surat Srisuwanpatai	ラップアップ・セミナー
	商務省外国貿易局 上級貿易担当官	Mr. Arkom Sitabtim	ラップアップ・セミナー
商務省知的財産局知的財産開発促進課長	Dr. Kajit Sukhum	ラップアップ・セミナー	
工業省工業規格研究所 国際関係課長	Mr. Supachai Tepatanapong	ラップアップ・セミナー	